



TRAXXAS

オーナーズマニュアル

目次

- 3 あなたの前に
続行
- 4 安全性
予防
- 7 ツール、消耗品、および
必要な機器
- 8 の解剖学
XRT
- 9 クイックスタート:
スピードを上げる
- 10 TQi ラジオと
ベリオンパワー
システム
- 18 調整する
電子速度
コントロール
- 21 モデルの運転
- 24 基本チューニング
調整
- 26 メンテナンス
あなたのモデル
- 28 高度なチューニング
調整
- 30 TQi アドバンスト
チューニングガイド

Velineon® VXL-8s ブラシレス パワー システムを搭載した Traxxas XRT™ をお買い上げいただきありがとうございます。Velineon パワー システムでは、ブラシレス モーター テクノロジーが提供する最高のものを体験できます。驚異的な速度、効率的な操作、長い実行時間、およびメンテナンスの手間がかからない操作は、利点のほんの一部です。耐久性があり、長持ちする製品の高速パフォーマンスをぜひご実感ください。

このマニュアルには、モデルを末永くお楽しみいただくために、操作とメンテナンスに必要な手順が記載されています。

私たちは、市場で最高のパフォーマンスを誇るモデルを所有しており、可能な限り最高レベルの工場サポートを提供することを目的とした専門家チームによってサポートされているという自信を持っていただきたいと考えています。Traxxas モデルは、自分のモデルだけでなく、そのモデルを支える企業も含めて、総合的なパフォーマンスと満足感を体験することを目的としています。

新しいモデルを公道に出すことに興奮しているのはわかりますが、時間をかけてオーナーズ マニュアルをよく読むことが非常に重要です。このマニュアルには、Traxxas のエンジニアがモデルに設計した潜在的なパフォーマンスを引き出すために必要なセットアップと操作手順がすべて含まれています。また、このマニュアルおよびモデルに貼付されているラベルやタグに記載されている注意事項と警告を必ず読み、に従ってください。彼らは、モデルを安全に操作し、モデルの寿命とパフォーマンスを最大限に引き出す方法を教育するために存在します。

経験豊富な RC 愛好家であっても、このマニュアルを読んで手順に従うことが重要です。

Traxxas をご利用いただきまして誠にありがとうございます。お客様に最高の満足をご提供できるよう、日々努力しております。新しいモデルをぜひお楽しみください。

FCC 準拠このデバ

イスには、FCC 規則のパート 15 に記載されているクラス B デジタル デバイスの制限に準拠するモジュールが含まれています。動作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならず、(2) このデバイスは望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があります。

クラス B デジタル デバイスの制限は、住宅環境における有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この製品は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って操作しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ユーザーは、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があることに注意してください。

カナダ、カナダ産業省 (IC)

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 および RSS-210 に準拠しています。このデバイスは、カナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。このデバイスは干渉を引き起こしてはいけ

無線周波数 (RF) 暴露に関する声明この機器は、FCC

およびカナダ産業省が管理されていない環境に対して定めた無線周波数暴露制限に準拠しています。この機器は、ラジエーターと人体または周囲の人の間に少なくとも 20 センチメートルの距離を置いて設置および操作する必要があり、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、併用したりしてはなりません。

動作周波数: 2414~2453 MHz 最大無線周波電
力: 最大ピーク電力 9.7 dBm

Traxxas サポート

Traxxas サポートはあらゆる段階でお客様とともにあります。お問い合わせ方法とサポート オプションについては、次のページを参照してください。



クイック スタ

ートこのマニュアルは、モデルをできるだけ短時間で立ち上げて実行するために必要な手順を概説するクイック スタート パスを備えて設計されています。経験豊富な R/C 愛好家であれば、すぐに役立つことがわかるでしょう。重要な安全性、メンテナンス、調整手順については、マニュアルの残りの部分を必ず読んでください。9 ページを開いて始めてください。



モデルを登録する

当社の顧客としてより良いサービスを提供するために、購入後 10 日以内にオンラインで [Traxxas.com/register](https://www.traxxas.com/register) で製品を登録してください。

[Traxxas.com/register](https://www.traxxas.com/register)

先に進む前に

モデルへの重大な損傷を防ぐために、本書および付属資料のすべての指示を注意深く読んで従ってください。これらの指示に従わない場合は考慮されます。

虐待および/または無視。

モデルを実行する前に、このマニュアル全体に目を通し、モデルを注意深く調べてください。何らかの理由で、それが望んでいたものではないと判断した場合は、それ以上続行しないでください。ホビー販売店では、走行後の返品・交換は一切お受けできません。

警告、役立つヒント、 & クロスリファレンス

このマニュアル全体を通じて、以下のアイコンで示される警告と役立つヒントが示されています。必ずお読みください。



個人の安全、またはモデルや関連コンポーネントへの損傷の回避に関する重要な警告です。



物事をより簡単に、より楽しくするための Traxxas からの特別なアドバイス。



関連トピックのあるページを参照します。

サポート

モデルまたはその操作についてご質問がある場合は、Traxxas テクニカル サポート ラインにフリーダイヤルでお電話ください。
1-888-トラクサス (1-888-872-9927)*

テクニカル サポートは、中央時間で年中無休、午前 8 時 30 分から午後 9 時までご利用いただけます。技術サポートは、Traxxas.com/support でもご利用いただけます。カスタマー サポートに電子メールで質問を送信することもできます (support@Traxxas.com)。Traxxas.com のオンライン コミュニティで何千人もの登録メンバーに加わってください。

Traxxas は、Traxxas サービスのあらゆるニーズに対応するフルサービスのオンサイト修理施設を提供しています。メンテナンスおよび交換部品は、Traxxas から電話またはオンライン (Traxxas.com) で直接購入できます。最寄りのディーラーから交換部品を購入すると、時間と配送料、手数料を節約できます。

製品サポートが必要な場合はお気軽にお問い合わせください。
新しいモデルをぜひご満足ください。

トラクサス

6250 トラクサス ウェイ
マックニー、テキサス州 75070
電話: 972-549-3000
フリーダイヤル 1-888-TRAXXAS

インターネット

ット Traxxas.com
電子メール: support@Traxxas.com

全コンテンツ ©2022 Traxxas.

全著作権所有。

Traxxas、Ready-To-Race、Ready To-Win、XRT、Velineon、および ProGraphix は、Traxxas の商標または登録商標です。

その他のブランド名およびマークはそれぞれの所有者の財産であり、識別の目的でのみ使用されます。Traxxas の書面による明示的な許可がない限り、このマニュアルのいかなる部分も印刷メディアまたは電子メディアで複製または配布することはできません。仕様は予告なく変更される場合があります。





このマニュアルに記載されているすべての指示と注意事項は厳密に守ってください。安全を確保するために従ったモデルの操作。



このモデルは、14 歳未満の子供または未成年者による使用を意図していません。



上級ドライバー専用。ラジコンの経験は必須です！これらのモデルは非常に大きく、高速性と加速性があり、LiPo バッテリーの使用が必要です。これらのモデルは上級ユーザー向けです。

自分自身や他人の安全のために車両と LiPo バッテリーシステムを安全に操作および保守するための経験、知識、成熟度を備えている人。



警告！

火災、怪我、または死亡の危険



この製品はおもちゃではありません。この製品はスキル レベル 6 (取扱説明書を参照) であり、14 歳未満の子供または未成年者による使用を意図していません。18 歳未満の個人は、操作およびメンテナンス中に責任ある大人の監督が必要です。XRT™ は極めて高いパフォーマンスと高速性を備えており、高度なスキルと専門的な運転能力を持つ経験豊富なユーザーのみが所有および操作することを目的としています。責任感、成熟度、常識が求められます。このモデルは、あなた自身とあなたの周囲の人々の安全を確保するために、絶対的な敬意と注意をもって扱われなければなりません。適切な注意と準備をせずに、不注意で危険な方法で XRT を操作すると、衝突により重傷や死亡などの悲惨な結果が生じる可能性があります。自分の限界を知りましょう。自分の本当の能力について正直になり、モデルを安全に実行できる場所があることを確認してください。

XRT では LiPo バッテリーを使用する必要があります。LiPo バッテリーは、不適切に扱われたり、乱用されたり、誤用されたりすると、火災や怪我を引き起こす重大な危険があります。ユーザーは、LiPo バッテリーの取り扱い、手入れ、および使用に関して、同梱されているすべての指示、警告、および注意事項を読み、理解する必要があります。LiPo バッテリーを充電するには、LiPo バランス充電器が必要です。最大限のパフォーマンスとより安全な充電のために、Traxxas iD バッテリー バランス充電器 (Traxxas EZ Peak® Live™ Dual、部品番号 2973、別売り) を備えた Traxxas Power Cell iD® バッテリーを強くお勧めします。

LiPo バランス充電器が何なのかわからない場合は、Traxxas またはホビーディーラーにお問い合わせください。火災の原因となる可能性があるため、LiPo バッテリーの充電には NiMH または NiCAD 充電器を決して使用しないでください。物的損害、人身傷害、または死亡の場合。

使用条件:この製

品は、このモデルを運転し、同梱の付属品を不注意、不適切、または危険な方法で使用すると重傷または死亡事故を引き起こす可能性があるという責任を購入者が受け入れることを理解した上で、Traxxas から購入者に引き渡されます。また、購入者は、誤用、危険な取り扱い、指示に従わないこと、または適用される法律や規制に違反する行為から生じるすべての責任を負います。

Traxxas、およびすべての Traxxas サプライヤーおよびコンポーネント メーカーは、意図的、無謀、過失、または偶発的行動を含む、いかなる状況下でも本製品の使用から生じる人身傷害、財産の損失、または人命の損失に対して責任を負わないものとします。Traxxas、およびすべての Traxxas サプライヤーおよびコンポーネント メーカーは、自社製品の組み立て、設置、または使用、あるいは製品の使用に必要な付属品や化学薬品から生じる特別、間接的、付随的、結果的損害に対しても責任を負わないものとします。製品を操作/使用する行為により、ユーザーは結果として生じるすべての責任を受け入れ、その使用に関連するすべての責任を Traxxas、すべての Traxxas サプライヤーおよびコンポーネント メーカーから解放するものとします。

ユーザーとして所有権の責任を受け入れない場合、Traxxas はこの製品を使用しないことを要求します。同封されている資料は絶対に開けないでください。模型をホビーディーラーに返却してください。ホビーディーラーは、使用済みまたは新品同様の状態でなくなった商品の返品または交換を一切受け付けません。

この取扱説明書に含まれるすべての情報は、予告なく変更されることがあります。Traxxas は、以前に販売された製品にそのような改良を組み込む義務を負うことなく、製品に変更や改良を加える権利を留保します。

モデルまたはその操作についてご質問がある場合は、Traxxas カスタマー サポート (1-888-TRAXXAS (1-888-872-9927)) までお電話ください。米国外の場合は、+1-972-549-3000。電子メール: support@traxxas.com。

安全はあなたの責任です！



警告: 怪我の危険があります！

特にフルスロットル始動時は、石、棒、その他の投げられた物体による人身傷害を避けるため、運転中は XRT の真後ろに立たないでください。観客や動物を安全な距離に置いてください。保護メガネの着用をお勧めします。



火災の危険！

この車両にはLiPoバッテリーが必要です。バッテリーの充電と放電は、指示に従って行わないと、火災、爆発、重傷、物的損害を引き起こす可能性があります。

さらに、リチウムポリマー (LiPo) バッテリーは、指示に従って適切に取り扱われなければならない場合、火災の重大な危険性があり、長寿命と安全な操作のために特別な注意と取り扱い手順が必要です。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーの使用に伴うリスクについて理解している上級ユーザーのみを対象としています。Traxxas は、知識と責任のある大人の監督なしに、18 歳未満の人が LiPo バッテリー パックを使用または取り扱うことを推奨しません。

使用済みの電池は指示に従って廃棄してください。• お使いのモデルでは LiPo バッテリーの使用が必要です。LiPo バッテリーには安全な最小放電電圧しきい値があり、これを超えてはなりません。電子スピードコントロールには、LiPo バッテリーが最小電圧 (放電) しきい値に達したときにドライバーに警告する低電圧検出機能が組み込まれています。バッテリーパックが安全な最小しきい値を下回って放電しないように、直ちに停止するのはドライバーの責任です。

• 低電圧検出は、LiPo バッテリーを安全に使用するための包括的な計画の一部にすぎません。LiPo バッテリーを安全かつ適切に充電、使用、保管するには、すべての指示に従うことが重要です。

LiPo バッテリーの使用法を必ず理解してください。LiPo バッテリーの使用法についてご質問がある場合は、お近くのホビー販売店にご相談いただくか、バッテリーのメーカーにお問い合わせください。すべてのバッテリーは耐用年数が終了したらリサイクルする必要があることに注意してください。

• Traxxas iD バッテリーの充電には、Traxxas iD 充電器のみを使用してください。LiPo バッテリーの充電には、バランス アダプター ポートを備えたリチウム ポリマー (LiPo) バランス充電器のみを使用してください。LiPo バッテリーの充電には、NiMH または NiCad タイプの充電器や充電モードを決して使用しないでください。NiMH 専用充電器で LiPo バッテリーを充電しないでください。NiMH または NiCad 充電器または充電モードを使用すると、LiPo バッテリーが損傷し、火災、人身傷害、および/または物的損害を引き起こす可能性があります。• LiPo バッテリーパックを直列または並列で充電しないでください。

バックを直列または並列で充電すると、不適切な充電が行われる可能性があります。

警告 !注意 !危険 !

充電器のセル認識が不十分であり、過充電、セルの不均衡、セルの損傷、火災を引き起こす可能性のある不適切な充電速度。

• 充電する前に、必ず LiPo バッテリーを注意深く検査してください。リード線やコネクタの緩み、ワイヤ絶縁の損傷、セルのパッケージの損傷、衝撃による損傷、液体の漏れ、膨張 (内部損傷の兆候)、セルの変形、ラベルの紛失、その他の損傷や異常がないかどうかを確認します。これらの状態のいずれかが観察された場合は、バッテリー パックを充電または使用しないでください。バッテリーを適切かつ安全に廃棄するには、バッテリーに同梱されている廃棄手順に従ってください。• LiPo バッテリーを、他のバッテリーや、他の LiPo を含むあらゆるタイプのバッテリー パックと一緒に、またはその周囲に保管したり充電したりしないでください。• バッテリーパックは涼しく乾燥した場所に保管および輸送してください。

直射日光の当たる場所に保管しないでください。車のトランク内など、保管温度が 140°F または 60°C を超えないようにしてください。セルが損傷し、火災の危険が生じる可能性があります。• LiPo バッテリーやセルを分解しないでください。• 独自の LiPo バッテリーパックを組み立てようとししないでください。

い。
緩んだ細胞。

• 充電する前に、充電器の設定が充電するバッテリーの種類 (化学的性質)、仕様、構成と正確に一致していることを必ず確認してください。メーカー推奨の最大充電速度を超えないようにしてください。• 非充電式バッテリー (爆発の危険)、内部充電回路または保護回路を備えたバッテリー、メーカーの元の構成から変更されたバッテリー、またはラベルが紛失または読めないバッテリーは充電しないでください。バッテリーの種類と仕様を確認します。

Traxxas iD バッテリーを充電するには、常に Traxxas iD 充電器を使用してください。Traxxas iD バッテリーの充電には、Traxxas 以外の充電器を使用しないでください。推奨されませんが、Traxxas 以外の充電器またはバッテリーを使用する場合は、製造元の警告と指示をすべて読んで従ってください。• 露出したバッテリーの接点やワイヤーが互いに接触しないようにしてください。バッテリーがショートして火災の危険性があります。

• 充電または放電中は、常にバッテリー (すべての種類のバッテリー) を難燃性/耐火性のある場所に置いてください。

容器やコンクリートなどの不燃性の表面に置いてください。

• 自動車の中でバッテリー

ーを充電しないでください。自動車の運転中にバッテリーを充電しないでください。• 木、布、カーペット、その他の可燃性物質の上でバッテリーを充電しないでください。

• バッテリーは常に換気の良い場所で充電してください。• 可燃物や可燃物を充電エリアから撤去してください。• 充電中、放電中、またはバッテリーが接続されて

充電器がオンになっている間は、充電器とバッテリーから目を離さないでください。故障の兆候がある場合、または緊急の場合は、充電器を電源から抜き、バッテリーを充電器から外してください。• 雑然とした空間で充電器を操作したり、充電器やバッテリーの上に物を置かないでください。• バッテリーまたはバッテリーセルが何らかの形で損傷した場合は、バッテリーを充電、放電、または使用しないでください。• 火災に備えてクラス D 消火器を近くに置いてください。• バッテリーを分解、粉碎、シ

ョートさせたり、火災やその他の発火源にさらしたりしないでください。有毒物質が放出される可能性があります。目や皮膚に付着した場合は、水で洗い流してください。

水。

• 充電プロセス中にバッテリーが触れると熱くなった場合 (温度が 110°F / 43°C 以上)、直ちにバッテリーを充電器から取り外し、充電を中止してください。• 実行の合間に (充電前に) バッテリーパックが冷めるまで待ちます。

• 次の場合は、必ず充電器のプラグを抜き、バッテリーも外してください。使用されていません。

• モデルを使用しないときや、保管または輸送するときは、必ずバッテリーのプラグを電子速度制御装置から抜いてください。• 充電器を分解しないでください。• 充電す

る前に、モデルまたはデバイスからバッテリーを取り外してください。

• 充電器を水や湿気にさらさないでください。• バッテリーパックは常に子供やペットの手の届かない安全な場所に保管してください。お子様がバッテリーを充電したり扱ったりするときは、常に大人の監督が必要です。• 常に慎重に作業を進め、良識を持って作業を行ってください。常時。



注意事項 このモデルは無線で制御され

ているため、無線の影響を受ける可能性があります。

制御できない多くのソースからの干渉。電波干渉によりラジコン制御が一時的に失われる可能性があるため、衝突を防ぐためにモデルの周囲の全方向に常に安全マージンを確保してください。

- モデルを実行するエリアで無線システムの範囲テストを行い、走行するエリアをカバーできる範囲があることを確認します。範囲テスト後は、最初はそのエリア内をゆっくりと走行し、瞬間的に制御を失う可能性のある干渉がないことを確認してください。

- 信号電力の出力と範囲を最大化するために、モデルでは常に新しい電池を使用してください。

- モーター、バッテリー、速度制御装置は使用中に高温になる場合があります。使用に火傷に注意してください。

- 運転するのに適切な場所を選択してください。あなたのモデルは、その操作が歩行者や車両の交通と衝突したり妨害する可能性がある公道や混雑した地域での使用を意図したものではありません。これは、他の人間や動物がモデルに衝突することによる傷害や死亡の可能性を防ぐためです。• XRT を自分で運転しないでください。友人を連れてスポッターとして行動し、人や動物が近づいてきた場合に警告します。• 夜間や視界の届くところではモデルを操作しないでください。

モデルが何らかの形で妨げられたり、損傷を受けたりする可能性があります。• 間違いや紛失が発生した場合は、モデルを近くで運転しないでください。コントロールにより、モデルがあなたまたは観客と衝突する可能性があります。

- モデルに損傷や緩みがないか常に注意深く検査してください。実行前のコンポーネント。何らかの損傷がある場合は、モデルを運転しないでください。緩んだ金具があれば締めてください。各走行セッションの前にホイールナットを締め、走行中は定期的にホイールナットの締め具合を確認してください。

- タイヤやホイールを持ってモデルを持ち上げないでください。バッテリーが接続されているときは、常に可動部品に手を安全に近づけないでください。

- XRT はバッテリーを取り外した状態で保管し、子供の手が届かない場所に保管し、他の無許可の運転者がアクセスしないように保護してください。

- モデルを使用しないときは、必ずバッテリーを取り外してください。車両にバッテリーを入れた状態で車両を保管しないでください。火災が発生し、物的損害、重大な人身傷害、さらには死亡事故を引き起こす可能性があります。

- バッテリー残量が少ない状態でモデルを操作し続けしないでください。制御を失う可能性があります。バッテリー残量が少ない場合は、動作が遅い、サーボが遅い（中心に戻るのが遅い）などの症状が現れます。バッテリーが弱っている最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。送信機の電池が消耗すると、赤い電源ライトが点滅し始めます。

直ちに停止し、新しい電池を取り付けてください。

- 最も重要なことは、常に良識を持って行動することです。

スピード コントロ

ールお使いのモデルの電子スピード コントロール (ESC) は、大電流を供給できる非常に強力な電子デバイスです。スピードコントロールやその他のコンポーネントへの損傷を防ぐために、次の注意事項に厳密に従ってください。• バッテリーを外す・使用しないときは、必ずスピードコントロール

ールからバッテリーを外してください。• ワイヤを絶縁する: 短絡を防ぐために、露出した配線を常に熱収縮チューブで絶縁してく

ださい。

- 送信機を最初にオンにします。送信機を先にオンにしてから送信機をオンにします。暴走や不安定なパフォーマンスを防ぐために速度制御をオンにします。

- 火傷しないように: ESC とモーターは使用中非常に熱くなる可能性があるため、冷めるまで触れないよう注意してください。冷却のために適切な空気流を供給します。• Traxxas 高電流コネクタを使用する:

バッテリーとモーターのコネクタを変更しないでください。配線を誤ると火災やESCの損傷の原因となることがあります。改造されたスピードコントロールは、サービスのために返却される際に再配線料金がかかる場合があることに注意してください。• 逆電圧なし: ESC は逆極性電圧に対して保護されていません。• ショ

ットキー ダイオードなし: 外部ショットキー ダイオードは逆転速度制御と互換性がありません。スピー

ドコントロールでショットキーダイオードを使用すると、ESC が損傷し、保証が無効になります。• 取扱説明書の仕様表に記載されている速度制御の最小制限および最大制限を常に遵守してください。ESC が 2 つのバッテリーで動作する場合は、

バッテリーの種類と容量を混合しないでください。両方のバッテリーに同じ電圧と容量を使用してください。適合しないバッテリーパックを使用すると、バッテリーや電子速度制御装置が損傷する可能性があります。

工具、消耗品、および必要な機器

モデルには、一連の特殊な測定ツールが付属しています。モデルを操作および保守するには、ホビーディーラーから入手可能な他のアイテムを購入する必要があります。

付属の工具と機器



2.5mm 「T」レ
ンチ



2.5mm 「L」レ
ンチ



2.0mm 「L」レ
ンチ



17mmホイールナット
レンチ



オプションのギア

必要な機器



Traxxas パワーセル LiPo バッテリ
ー (部品番号 2890X, 別売り)

Traxxas 付き LiPo バッテリー 2 個

大電流コネクタ*

最大限のパフォーマンスとより安全な充電のために、

Traxxas Power Cell LiPo iD® バッテリーを強く

お勧めします 最小: 5000mAh 11.1v 3

セル (3 秒)

推奨: 6700mAh 14.8v 4 セル (4 秒)



EZ-Peak Live™ Dual
(部品番号
2973, 別売り)

LiPoバッテリー充電器*



Traxxas パワーセルバッテリー
(部品番号
2914, 別売り)

単3形アルカリ電
池4本



電池の詳細については、13
ページの「適切な電池の使用」
を参照してください。



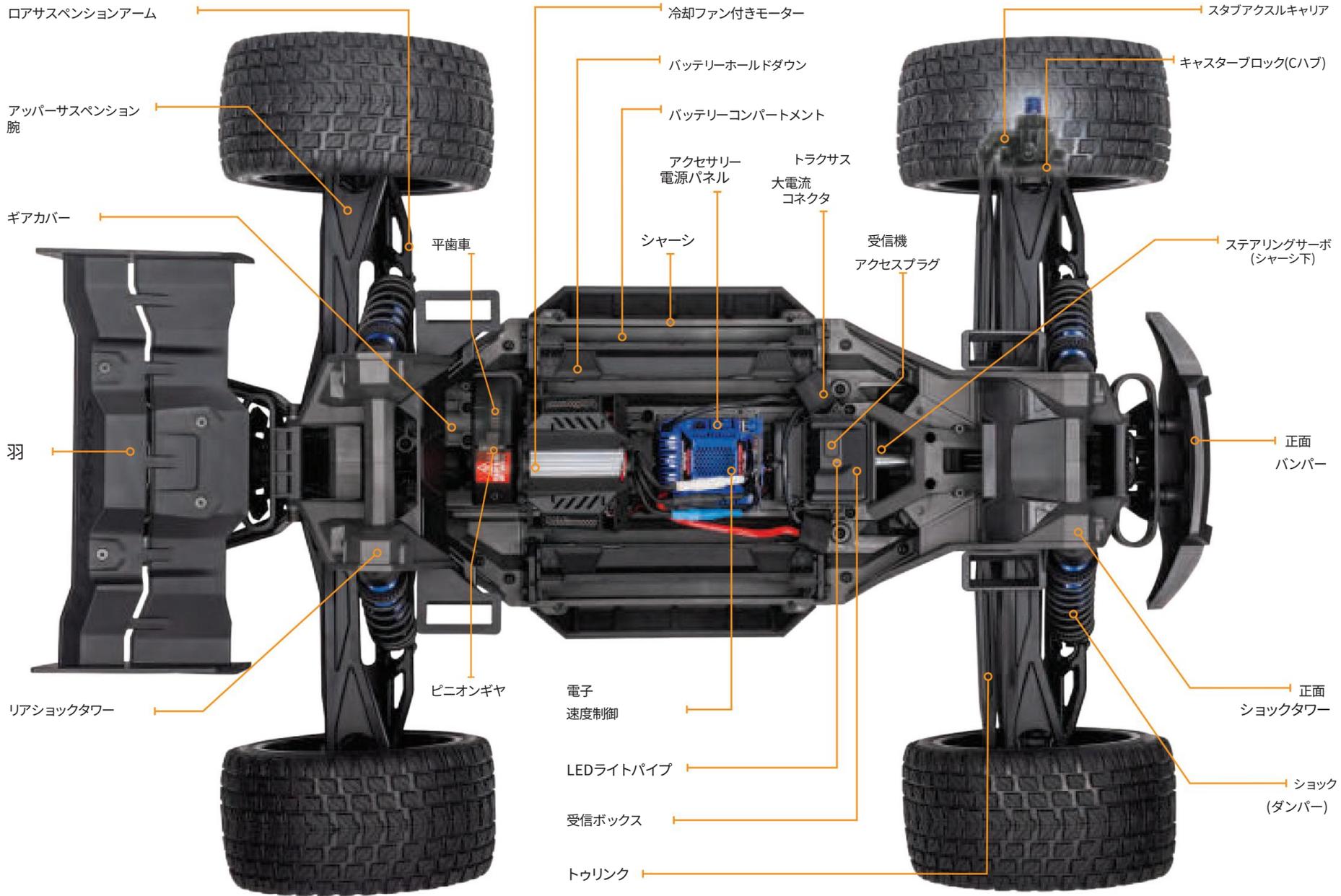
推奨装備

これらのアイテムはモデルの操作
には必須ではありませんが、R/
C ツールボックスに含めておくこと
をお勧めします。•安全メガネ

• Traxxas ウルト
ラ プレミアム タイヤ

接着剤、部品番号 6468 (CA 接着
剤) • ホビーナイ
フ • サイドカッターおよび/またはラ
ジオペンチ

XRT の構造



リアサスペンションアーム

アッパーサスペンション腕

ギアカバー

羽

リアショックタワー

冷却ファン付きモーター

バッテリーホールドダウン

バッテリーコンパートメント

アクセサリ電源パネル

トラクサス大電流コネクタ

シャーシ

受信機アクセスプラグ

スタブアクスルキャリア

キャスターブロック(Cハブ)

ステアリングサーボ(シャーシ下)

正面バンパー

正面ショックタワー

ショック(ダンパー)

平歯車

ピニオンギヤ

電子速度制御

LEDライトパイプ

受信ボックス

トゥリンク

クイック スタート: すぐに始める



次のガイドは、モデルを実行する手順の概要です。クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探してください。



1. 4 ページの安全上の注意事項をお読みください。

あなた自身の安全のために、不注意や誤用が人身傷害や製品の損傷につながる可能性があることを理解してください。



6. サーボ動作確認 • 16 ページ参照

ステアリングサーボが正しく動作していることを確認してください。



2. 2 つのバッテリーパックを充電する • 13 ページを参照

お使いのモデルには、2 つの同一の LiPo バッテリー パックと互換性のあるバッテリー充電器 (別売り) が必要です。LiPo バッテリー パックの充電には、NiMH または NiCad 充電器を決して使用しないでください。



7. 無線システムの距離テスト • 16 ページを参照

この手順に従って、無線システムが離れた場所でも適切に動作し、外部ソースからの干渉がないことを確認してください。



3. 送信機に電池を取り付けます • 13 ページを参照してください。

送信機には単3形アルカリ電池4本 (別売り)が必要です。



8. モデルの詳細を説明します。追加記事 (10 ページ) を参照してください。

必要に応じて他のデカールを貼り付けます。



4. バッテリーパックをモデルに取り付けます • 14 ページを参照してください。

お使いのモデルには、完全に充電されたバッテリー パック (別売り) が 2 つ 必要です。



9. モデルを操作する • 21 ページを参照

モデルに合わせた運転のヒントと調整。



5. 無線システムの電源を入れます。 • 15 ページを参照してください。

送信機の電源を最初にオンにし、最後にオフにすることを習慣にしてください。



10. モデルのメンテナンス • 26 ページを参照

モデルのパフォーマンスを維持し、優れた実行状態を維持するには、次の重要な手順に従ってください。



クイック スタート ガイドは、このマニュアルに記載されている完全な操作手順に代わるものではありません。

の適切な使用とメンテナンスに関する完全な手順については、このマニュアル全体をお読みください。

あなたのモデル。

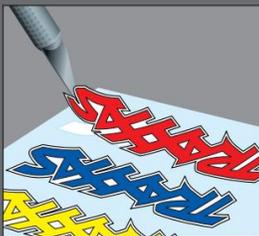
クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探してください。





デカールの貼り付けモデル

の主要なデカールは工場で貼り付けられています。追加のデカールは粘着性のある透明なマイラーに印刷されており、簡単に剥がせるようにダイカットされています。ホビークナイフを使用してデカールの角を持ち上げ、台紙から持ち上げます。



デカールを貼り付けるには、一方の端を下に置き、もう一方の端を上にして、デカールを指で徐々に滑らかにします。こうすることで気泡の発生を防ぎます。デカールの両端を下にして平らにしようとすると、エアポケットができてしまいます。一般的なデカールの配置については、箱の写真をご覧ください。



はじめにお使いのモデル

には、Traxxas Link™モデル メモリを備えた最新の Traxxas TQi 2.4GHz 送信機が含まれています。送信機の使いやすいデザインは、新しい R/C 愛好家にすぐに運転の楽しさを提供するだけでなく、上級ユーザーやモデルのパフォーマンスを実験したい人にプロレベルのチューニング機能を完全に提供します。ステアリングとスロットルチャンネルには、調整可能なエクスポネンシャル、エンドポイント、サブトリムが備わっています。ステアリングとブレーキのデュアルレートも利用可能です。次のレベルの機能の多くは、さまざまな機能を制御するようにプログラムできるマルチファンクションノブによって制御されます。このマニュアルに含まれる詳細な手順 (30 ページ) とメニュー ツリー (33 ページ) は、新しい TQi 無線システムの高度な機能を理解し、操作するのに役立ちます。追加情報とハウツービデオについては、Traxxas.com にアクセスしてください。

無線および電力システムの用語

これらの無線および電力システムの用語についてよく理解してください。これらはこのマニュアル全体で使用されます。

新しい無線システムの高度な用語と機能の詳細な説明は、30 ページから始まります。

2.4GHz スペクトラム拡散- このモデルには最新のスペクトラム拡散機能が搭載されています。

R/C技術、周波数クリスタルを必要とし、周波数の競合が発生しやすい AM および FM システムとは異なり、TQi システムは空いている周波数を自動的に選択してロックし、干渉や「グリッチ」に対する優れた耐性を提供します。

BEC (バッテリーエリミネーター回路) - BEC は次のいずれかにあります。

受信機またはESC内にあります。この回路により、受信機とサーボが可能になります。

電動モデルではメインバッテリーパックから電力を供給します。これにより、無線機器に電力を供給するために単三電池 4 本を別途持ち運ぶ必要がなくなります。

ブラシレス モーター- AD/C ブラシレス モーターは、ブラシ付きモーターの従来の整流子とブラシの配置を、電磁巻線に順番に通電して回転を提供するインテリジェントな電子機器に置き換えます。ブラシ付きモーターとは反対に、ブラシレス モーターはモーター カンの周囲に巻線 (コイル) を持ち、回転するローター シャフトに磁石が取り付けられています。

コギング- コギングは、次のような症状に関連する場合があります。

ブラシレスモーター、通常、停止状態から加速するときに発生するわずかなぶらつきが発生します。それは非常に短期間に起こるので、

電子速度制御装置とモーターからの信号は相互に同期します。VXL-8s 電子速度制御は、コギングを実質的に排除するように最適化されています。

電流- 電流は、電流を流れる電力の尺度です。

電子機器、通常はアンペアで測定されます。ワイヤーを庭のホースと考えると、電流はホースを流れる水の量の尺度になります。

ESC (電子速度制御) - 電子速度制御は、モデル内の電子モーター制御です。VXL-8s エレクトロニック

速度制御は高度な回路を使用して、正確なデジタル比例スロットル制御を提供します。電子速度制御は機械式速度制御よりも効率的に電力を使用するため、バッテリーがより長く動作します。電子速度制御装置には、バッテリーの充電が切れたときにステアリングとスロットル制御が失われるのを防ぐ回路も備わっています。

周波数帯域- 送信機がモデルに信号を送信するために使用する無線周波数。このモデルは、2.4GHz 直接拡散スペクトラムで動作します。

kV 定格- ブラシレス モーターは、多くの場合、kV 値によって定格されます。

kV 定格は、1 ボルトを印加した場合の無負荷モーターの rpm に相当します。モーター内のワイヤの巻き数が減少すると、kV は増加します。

kV が増加すると、電子機器を流れる電流も増加します。Velineon 1200XL モーターは 1200 kV モーターです。

LiPo - リチウムポリマーの略称。充電式 LiPo バッテリー パックは、コンパ

クトなサイズで非常に高いエネルギー密度と電流処理を可能にする特殊な化学反応で知られています。これらは高性能バッテリーなので、特別な注意と取り扱いが必要です。LiPo バッテリー パックは上級ユーザーのみを対象としています。

mAh - ミリアンペアアワーの略語で、バッテリーパックの容量の尺度です。数値が大き

いほど、次の充電までのバッテリーの持続時間が長くなります。

ニュートラル位置- 送信機のコントロールがニュートラル設定にあるときにサーボが求める立位位置。

NiCad - ニッケルカドミウムの略語。オリジナル

充電式ホビー パックのニカド バッテリーは、非常に高い電流処理、大容量を備え、最大 1000 回の充電サイクルに耐えることができます。

「メモリー」効果が発生して実行時間が短縮される可能性を減らすには、適切な充電手順が必要です。

NiMH - ニッケル水素の略称。充電式 NiMH バッテリーは、高電流を処理でき、「メモリー」効果に対する耐性があるかに優れています。NiMH バッテリーは一般に、NiCad バッテリーよりも高い容量を実現します。最大 500 回の充電サイクルが持続します。最適なパフォーマンスを得るには、NiMH バッテリー用に設計されたピーク充電器が必要です。

受信機- 送信機から信号を受信し、サーボに中継するモデル内の無線ユニット。

抵抗- 電気的な意味では、抵抗は、物体が電流の流れにどのように抵抗するか、または妨げるかの尺度です。

流れが狭まると、エネルギーが熱に変換され、失われます。

Velineon 電源システムは、電気抵抗とその結果生じる電力を奪う熱を低減するように最適化されています。

ローター- ローターはブラシレスモーターの主軸です。

ブラシレスモーターでは、ローターに磁石が取り付けられ、モーターハウジングに電磁巻線が組み込まれています。

センサー付き- センサー付きとは、モーターの内部センサーを使用してローターと通信するタイプのブラシレスモーターを指します。

位置情報を電子速度制御装置に戻します。

センサーレス- センサーレスとは、電子速度制御からの高度な命令を使用してスムーズな動作を提供するブラシレス モーターを指します。追加のモーターセンサーや配線は必要ありません。VXL-8s 電子速度コントロールは、スムーズなセンサーレス制御のために最適化されています。

サーボ- ステアリングを操作するモデル内の小型モーター ユニット機構。

送信機- スロットルと信号を送信する手持ち無線ユニット。

モデルへのステアリング指示。

トリム- 送信機の表面にあるスロットルおよびステアリング トリム ノブを調整することによって行われる、サーボのニュートラル位置の微調整。注:マルチファンクションノブは、スロットルトリム調整として機能するようにプログラムする必要があります。

サーマルシャットダウン保護- VXL-8s 電子速度制御で使用される温度感知電子機器は、トランジスタ回路の過負荷と過熱を検出します。過度の温度が検出された場合、電子機器への損傷を防ぐためにユニットは自動的にシャットダウンします。

2 チャンネル無線システム- TQi 無線システム。以下で構成されます。

受信機、送信機、サーボ。このシステムは、スロットル操作とステアリング操作の 2 つのチャンネルを使用します。

電圧- 電圧は電位差の尺度です。

バッテリーのプラス端子とアースの間など、2 点間。庭のホースに例えると、電流はホース内の水の流れの量ですが、電圧はホース内に水を強制的に流す圧力に対応します。

無線システムに関する重要な注意事項

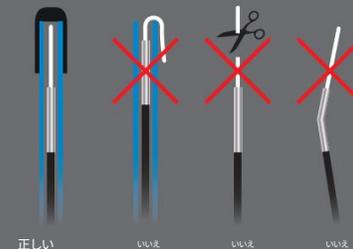
- 受信機のアンテナ線をねじらないでください。アンテナ線のよじれ範囲が狭くなります。
- 受信機のアンテナ線を切断しないでください。アンテナを切断すると通信範囲が狭くなります。• 範囲を最大化する

には、モデル内のアンテナ ワイヤを可能な限り延長します。アンテナ線を体外に出す必要はありませんが、アンテナ線を巻き付けたり、コイル状に巻いたりすることは避けてください。

- アンテナチューブで保護せずにアンテナワイヤーを身体の外に延ばさないでください。アンテナワイヤーが切断または損傷し、通信範囲が狭くなる可能性があります。損傷の可能性を防ぐために、ワイヤーを本体内 (アンテナチューブ内) に保管することをお勧めします。



無線範囲の損失を防ぐために、黒いワイヤーをねじったり切断したり、金属の先端を曲げたり切断したり、金属の先端の白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。





ベリネオン 1200XL の仕様

タイプ:
センサーレス ブラシレス

rpm/ボルト:
1200

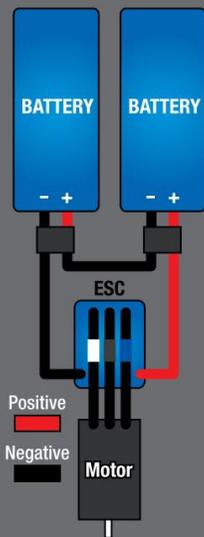
接続タイプ: 6.5mm
弾丸

直径: 48mm
(1.88インチ)

長さ:
110mm (4.32インチ)

重量:
665g (23.44オンス)

ESC/モーター配線図

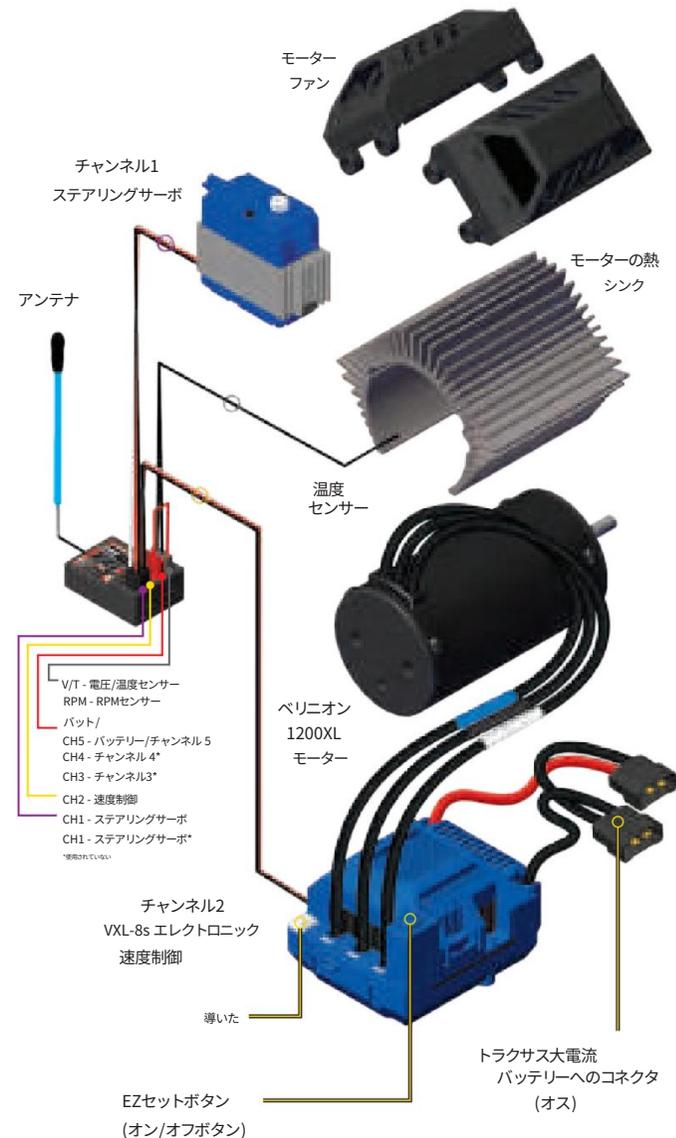


お使いのモデルには、Traxxas Link™ モデル メモリを備えた最新の TQi 2.4GHz 送信機が装備されています。送信機にはスロットルとステアリングを制御するための 2 つのチャンネルがあります。モデル内の受信機には 5 つの出力チャンネルがあります。このモデルには 1 つのサーボと電子速度コントロールが装備されています。

送信機と受信機



モデル配線図



** Telemetry Expander Module で使用するアクセサリ センサー拡張ポート (詳細については、Traxxas.com および付属資料を参照してください)

送信機の電池の取り付け

TQi 送信機は 4 本の単三電池を使用します。バッテリー収納部は送信機のベースにあります。



1. タブを押してバッテリー収納部のドアを取り外し、ドアをスライドさせて開けます。
2. 図に示されているように、電池を正しい方向に取り付けます。バッテリーコンパートメント。
3. バッテリー収納部のドアを再度取り付けて、カチッと閉めます。
4. 送信機の電源を入れ、状態を確認します。
緑色に点灯する LED。



ステータス LED が赤く点滅する場合は、送信機の電池が弱くなっているか、放電しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。新しい電池と交換してください。ステータス LED は、モデルに取り付けられているバッテリー パックの充電レベルを示すものではありません。送信機のステータス LED コードの詳細については、31 ページのトラブルシューティングのセクションを参照してください。

モデルに合ったバッテリーの選択

お使いのモデルにはバッテリーや充電器は含まれていません。Traxxas 高電流コネクタを備えた 2 つの同一のリチウム ポリマー (LiPo) バッテリーが必要です。**ニッケル水素 (NiMH) 電池は使用しないでください。**最大限のパフォーマンスとより安全な充電のために、Traxxas Power Cell iD バッテリーを強くお勧めします。

次の表は、お使いのモデルで利用可能なパワーセル バッテリーのリストです。

iD 搭載 LiPo バッテリー

2872X 5000mAh 11.1v 3 セル (3 秒) 25C LiPo iD バッテリー* 2857X

6400mAh 11.1v 3 セル (3 秒) 25C LiPo iD バッテリー* 2889X 5000mAh

14.8v 4 セル (4 秒) 25C LiPo iD バッテリー* 2890X 6700 mAh 14.8v 4 -セル

(4 秒) 25C LiPo iD バッテリー

*適切に取り付けるには追加のバッテリー バック スペーサーが必要です (部品番号 7819,別売り)。

注: 4 s LiPo バッテリーと純正ギアで XRT を動作させる場合、最高速度は 50+mph です。2 秒/3 秒の LiPo パフォーマンスは大幅に遅くなります。



警告: 火災の危険があります!

リチウムポリマー (LiPo) バッテリーのユーザーは、4 ページから始まる警告と注意事項を必ずお読みください。LiPo バッテリーには必ず LiPo バランス充電器を使用してください。そうしないと、バッテリーが損傷し、火災の可能性があります。

VXL-8s 電子機器では NiMH バッテリーを使用しないでください。
速度制御。バッテリーが非常に高温になり、損傷や怪我をする可能性があります。



CAUTION

Burn hazard.
Hot surface.
Do not touch.

モデルに合った充電器の選択 選択したバッテリーに適したタイプの充電器を選択していることを確認してください。Traxxas では、より安全に充電し、バッテリー寿命とパフォーマンスを最大限に高めるために、純正の Traxxas EZ-Peak iD 充電器を選択することをお勧めします。

充電器	部品番号	ニッケル水素		リポ	バッテリー ID	最大。細胞
		互換性	互換性			
EZ-Peak Plus.4 アンプ	2970	はい	はい	はい	はい	3秒
EZ-Peak Live.12 アンプ	2971	はい	はい	はい	はい	4秒
EZ-Peak Dual.8アンプ	2972	はい	はい	はい	はい	3秒
EZピークライブデュアル.26アンプ	2973	はい	はい	はい	はい	4秒
EZ-Peak Plus 4s.8アンプ	2981	はい	はい	はい	はい	4秒



適切な電池を使用する送信機は単三電池を使用します。新しいアルカリ電池を使用してください。

バッテリー (部品番号 2914)。TQi 送信機の電力供給には充電式単三電池を使用しないでください。送信機の性能を最適化するために十分な電圧が供給されないからです。

注意: コントロールを失うことを避けるために、電池が弱くなっている最初の兆候 (送信機の赤いライトの点滅) が現れたら、モデルの実行を中止してください。



ステータス LED が緑色に点灯しない場合は、電池の極性を確認してください。LED から他の点滅信号が表示された場合は、31 ページの表を参照してコードを特定してください。



Battery iD Traxxas 推奨バッテリーパック

クには Traxxas Battery iD が搭載されています。この独自の機能により、Traxxas バッテリー充電器 (別売り) が接続されたバッテリー パックを自動的に認識し、バッテリーの充電設定を最適化することができます。これにより、充電器の設定やメニューについて心配する必要がなくなり、最も簡単で安全な充電ソリューションが実現します。

この機能と利用可能な Traxxas iD 充電器とバッテリーの詳細については、Traxxas.com にアクセスしてください。



バッテリーコンパートメント 仕様

工場出荷時に取り付けられたフォームの場合:

- 長さ 179.6 mm (7.07 インチ)
幅 48.7 mm (1.92 インチ) x
- 純正ストラップを含む高さ:
44 mm (1.73 インチ)

工場出荷時に取り付けられたフォームなし:

- 長さ 185.6 mm (7.31 インチ)
幅 51.5 mm (2.03 インチ) x
- 純正ストラップを含む高さ:
44 mm (1.73 インチ)



本体の取り外しと取り付け

XRT には、ボディをシャーシに固定するための革新的なラッチ システム(特許出願中)が組み込まれています (ボディ クリップは必要ありません)。

シャーシにアクセスするためにボディを取り外すには、次の手順を実行します。1. フロントおよびリアのボディ フェンダーの下に手を入れ、ラッチをトラック ボディの外側に向かって引いて外します。

2. ラッチを押し上げて、ラッチを本体から完全に外します。

3. 本体をシャーシから真っすぐに持ち上げます。本体の前後を均等に持ち上げないと外れにくくなる場合があります。



本体を再度取り付けるには、次

の手順に従います。1. 本体をシャーシ上に配置します。ボディの前後を揃えるバンパーと一緒に。

2. ラッチがカチッと鳴るまで、本体の各ラッチ位置を押し下げます。所定の位置に。

注:クリップレス システムを適切に機能させるには、本体のラッチと本体マウントのスロットを定期的に検査して清掃してください。これらの部品にゴミや汚れが蓄積すると、クリップレスシステムがスムーズに動作しなくなります。

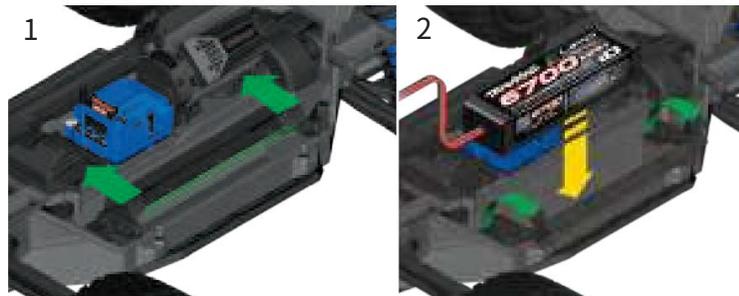
バッテリーパックの取り付け

1. 2 つのリリース タブを使用してバッテリー ホールドダウンをトラックの中心に向かって押し、ホールダウンを上に向かって手前に持ち上げます。

2. 完全に充電されたバッテリーを、高電流コネクタがモデルの後方に向くようにしてバッテリー コンパートメントに挿入します。

3. バッテリー押さえを下げ、バッテリーの外側に向かって引っ張ります。トラックをバチンと閉めます。

4. 反対側のバッテリーについても繰り返します。



注:バッテリー コンパートメントには、Traxxas 6700mAh 4s バッテリー パック (部品番号 2890X) が収納されます。他の LiPo バッテリーを使用する場合、適切に取り付けるには追加のフォーム ブロックとバッテリー パック スペーサーが必要です (バッテリー チャートを参照)。

Traxxas 高電流コネクタお使いのモデルには Traxxas 高電流コネクタが装備されています。標準コネクタは電流の流れを制限し、VXL-8 の出力を最大化するために必要な電力を供給できません。Traxxas コネクタの金メッキ端子は接触面が大きく、最小限の抵抗で正の電流が流れます。安全で長持ちし、握りやすい Traxxas コネクタは、バッテリーが供給するすべての電力を引き出すように設計されています。



無線システムの制御



無線システムのルール

- 常に TQi 送信機の電源を最初にオンにし、最後にオフにします。この手順は、モデルが別の送信機または他のソースから漂遊信号を受信して制御不能になるのを防ぐのに役立ちます。お使いのモデルには、この種の誤動作を防ぐための電子フェイルセーフが備わっていますが、モデルの暴走に対する最初の最善の防御策は、常に送信機の電源を最初にオンにし、最後にオフにすることです。
- 無線システムには常に新しい電池を使用してください。電池が消耗すると、受信機と送信機間の無線信号が制限されます。無線信号が失われると、モデルの制御が失われる可能性があります。



- 送信機と受信機を相互にバインドするには、送信機の電源を入れてから 20 秒以内にモデル内の受信機の電源を入れる必要があります。送信機または受信機の LED が赤く点滅している場合は、リンクに失敗していることを示します。見逃した場合は、送信機をオフにして最初からやり直してください。

- バッテリーを接続する前に、必ず送信機の電源を入れてください。

無線システムの基本調整

ステアリング トリ

送信機の表面にある電子ステアリング トリムは、ステアリング チャンネルのニュートラル (中心) 点を調整します。

注:ステアリング トリムの調整中は、Traxxas Stability Management (TSM) を完全にオフにする必要があります。TSM の調整については 17 ページを参照してください。



マルチファンクションノブ

マルチファンクションノブは次のことができます。

さまざまな機能を制御するようにプログラムされています。工場出荷時、マルチファンクションノブは Traxxas Stability Management (TSM) を制御します。TSM の詳細については、17 ページを参照してください。



モデルへの損傷を避けるために、必ず最初に TQi 送信機をオンにし、最後にオフにすることを忘れないでください。



自動フェイルセーフ

TQi 送信機および受信機には、ユーザーによるプログラミングを必要としない

自動フェイルセーフシステムが装備されています。信号損失または干渉が発生した場合、スロットルはニュートラルに戻り、

ステアリングは最後に指示された位置を保持します。モデルの操作中にフェイルセーフが作動した場合は、モデルを再度操作する前に信号損失の原因を特定し、問題を解決してください。



バッテリーが弱っている最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。電池パックを接続した状態で送信機の電源を切らないでください。暴走する恐れがあります。



リバースの使用: 走行中にスロットル トリガーを前方に押し、ブレーキをかけます。停止したらスロットルトリガーをニュートラルに戻します。スロットル トリガーをもう一度前方に押し、プロポーションアル リバースが作動します。

無線システムの使用

TQi 無線システムは工場ですべて事前調整されています。輸送中に動いた場合に備えて、モデルを実行する前に調整を確認する必要があります。方法は次のとおりです。1. 送信機のスイッチをオンにします。送信機のステータス LED

緑色に点灯している必要があります (点滅していません)。

2. すべてのタイヤが地面から離れるようにモデルをブロックまたはスタンドの上に置きます。モデルの可動部分に手を触れないようにしてください。

3. モデルのバッテリーパックをスピードコントロールに接続します。

4. オン/オフスイッチは速度制御に統合されています。とともに

送信機の電源をオンにして、EZ-Set ボタンを押して放します (0.25 秒)。LED が緑色に光ります。これによりモデルがオンになります。VXL-8 の電源をオフにするには、バッテリーを取り外します。

5. 送信機のステアリングホイールを前後に回し、ステアリングサーボが素早く作動するか確認します。また、ステアリング機構に緩みや固着がないか確認してください。ステアリングの動作が遅い場合は、バッテリーが弱っていないか確認してください。

6. モデルを見下ろしたとき、前輪はまっすぐ前を向いている必要があります。ホイールが左右にわずかに回転している場合は、TSM をオフにして (17 ページを参照)、ステアリング トリム コントロールを送信機のステアリング トリム コントロールをゆっくりと調整して、ホイールが真っすぐ前を向くようにします。次に、マルチファンクションノブを希望の TSM 設定に戻します。

7. スロットル トリガーをゆっくりと操作して、

前進と後進の動作、スロットルトリガーがニュートラルのときにモーターが停止することを確認します。警告: モデルが上昇しているときに、前進または後進でフルスロットルを使用しないでください。

8. 調整が完了したら、モデルの受信機の電源を切り、次にハンドヘルド型送信機の電源を切ります。

無線システムの範囲テストモデルを使用し

てセッションを実行する前に、無線システムが適切に動作することを確認するために範囲テストを行う必要があります。

1. 前のセクションで説明したように、無線システムの電源を入れ、その動作を確認します。
2. 友人にモデルを持ってもらいます。手や衣服がモデル上の車輪やその他の可動部品にかからないようにしてください。
3. モデルを操作する予定の最も遠い距離に到達するまで、送信機を持ったモデルから離れます。

4. 送信機のコントロールをもう一度操作して確認します。

モデルが正しく応答することを確認します。

5. 無線システムに問題がある場合、または現在地で無線信号に対する外部干渉がある場合は、モデルを操作しないでください。

高速化にはより長い距離が必要モデルの運転が速くなると、無線通信範囲の限界に近づくのも早くなります。時速 100 マイルで、モデルは毎秒 88 フィートを移動できます。スリル満点ですが、モデルが射程内に収まるよう注意してください。モデルが最高速度に到達するのを確認したい場合は、トラックの走行エリアの遠端ではなく中央に位置し、自分の位置に向かってトラックを運転したり、自分の位置を通り過ぎたりすることが最善です。

このテクニックにより、無線の到達範囲が最大化されるだけでなく、モデルが近くに留まり、見やすく、制御しやすくなります。

モデルをどれだけ速く、あるいは速くまで運転しても、あなた、モデル、他の人の間には常に十分なスペースを残してください。自分自身や他の人に向かって直接運転しないでください。

TQi バインド手順適切に動作

させるには、送信機と受信機を電子的に「バインド」する必要があります。これは工場で行われています。

システムを再バインドする必要がある場合、または追加の送信機または受信機にバインドする必要がある場合は、次の手順に従ってください。注: レシーバーはバインディングのために 4.8 ~ 6.0 v (公称) 電源に接続する必要があり、トランスミッターとレシーバーは互いに 5 フィート以内にある必要があります。

1. 送信機の SET ボタンを押したままにして、送信機の電源をオンにします。送信機の LED が赤色でゆっくり点滅します。SET ボタンを放します。
2. 受信機の LINK ボタンを押したままにして電源を入れます。速度コントロール (EZ-Set ボタンを押すことによる)。LINK ボタンを放します。
3. 送信機と受信機の LED が緑色に点灯すると、システムはバインドされており、すぐに使用できます。モデルを運転する前に、ステアリングとスロットルが正しく動作することを確認してください。

トラクサススタビリティマネジメント (TSM)



Traxxas Stability Management (TSM) を使用すると、トラクションが低い状況でも車両の制御を維持できるようになり、Traxxas モデルに組み込まれたすべての速度と加速を体験できます。TSM は、滑りやすい路面でも、フィッシュテール、スピニアウト、コントロールの喪失を引き起こすことなく、フルスロットルで直進加速するのに役立ちます。TSM はブレーキ制御も劇的に改善します。

TSM が楽しみを邪魔したり予期せぬ副作用を引き起こすことなく修正してくれるため、高速コーナリングとコントロールも可能になります。

TQi 送信機のマルチファンクション ノブは、TSM を制御するようにプログラムされています。TSM の推奨 (デフォルト) 設定は、ノブを 12:00 の位置 (ダイヤルのゼロのマーク) に回転することです。

ノブを時計回りに回すとアシストが増加します。ノブを反時計回りに回すとアシストが減少します。ターン

ノブを反時計回りに回して

TSM を完全にオフにするには停止します。注: TSM は、後進運転またはブレーキをかけると自動的に無効になります。



トラクションのある路面を走行する場合は、TSM 設定を下げて、パワー スライドやドリフトなどに対して車両がより「緩く」感じられるようにします。トラクションが非常に少ない路面 (緩い土、滑らかなコンクリート、氷/雪) では、TSM を増やして加速とコントロールを最大化します。

TSM をオンまたはオフにして運転し、車両の制御がどのように簡単かつ正確になるかをテストします。詳細については、Traxxas.com/tsm をご覧ください。

注:ステアリングトリムを調整するときは、TSM を完全にオフにする必要があります。

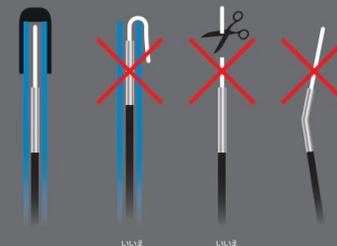
アンテナのセットアップ受信アンテナは工場出荷時

にセットアップおよび設置されています。アンテナは3x4mmの止めネジで固定されています。アンテナチューブを取り外すには、付属の1.5mmレンチを使用し、止めネジを外すだけです。

アンテナを再度取り付ける場合は、まずアンテナ ワイヤをアンテナ チューブの底部にスライドさせて、アンテナの白い先端がチューブの上部の黒いキャップの下に来るようにします。次に、アンテナ ワイヤがアンテナ マウントのスロットに入っていることを確認しながら、アンテナチューブをマウントに挿入します。次に、アンテナチューブの隣に止めネジを取り付けます。付属の 1.5 mm レンチを使用して、アンテナ チューブが所定の位置にしっかりと固定されるまでネジを締めます。締めすぎないでください。

アンテナ ワイヤを曲げたりねじったりしないでください (詳細についてはサイドバーを参照してください)。アンテナチューブを短くしないでください。

無線範囲の損失を防ぐために、黒いワイヤをねじったり切断したり、金属の先端を曲げたり切断したり、金属の先端の白いワイヤを曲げたり切断したりしないでください。



電子速度制御の調整

VXL-8の仕様

入力電圧: 4S/6S/
8S LiPo (最大 33.6
ボルト)

サポートされているモーター:
センサーレス ブラシレス

バッテリーコネクタ:
トラックサス大電流
コネクタ

モーターコネクタ: TRX
6.5mm プレット
コネクタ

モーター/バッテリー配線: 10
ゲージ Maxx® ケーブル

重量: 182g
(6.42オンス)

ケースサイズ:
58mm (2.28インチ)/72mm
(2.83インチ)/46mm (1.81インチ)

電子速度コントロールの調整VXL-8s 電子速度コント

ロールのデフォルト設定は工場プログラムされているため、通常の操作では調整する必要はありません。

次の情報は、設定を確認したり、ニーズに合わせて設定をカスタマイズしたりするのに役立ちます。



注意: LiPo バッテリーの使用VXL-8s 電子スピー

ド コントロールは、4S、6S、または 8S LiPo バッテリー電源で動作するように設計されています。モデルの電源を入れると、スピード コントロールのステータス LED が緑色に点灯し、LiPo バッテリーの過電を防ぐために低電圧検出が作動していることを示します。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーに関連するリスクについて理解している最も上級のユーザーのみを対象としています。

リポバッテリー使用。

ニッケル水素電池と一緒に使用しないでください。

VXL-8s 電子スピードコントロール。バッテリーが非常に高温になり、損傷や怪我をする可能性があります。



スロットル モードの選択: SPORT,RACE、または TRAINING 1. 完全に充電された 2 本の LiPo バッテリーを VXL-8 に接続し、電源を入れます。送信機。

2. LED が緑色に点灯するまで EZ-Set ボタンを押し続けます。

赤で点灯した後、赤で点滅し始めます。1 回点滅し、次に 2 回点滅し、次に 3 回点滅し、それを繰り返します。

1 回点滅 = スポーツ モードがデフォルト設定です。フル前進および後進スロットルが可能になります。

2 回点滅 = レースモードでは、トラックで許可されていない場合にリバース スロットルが解除されません。

3 回点滅 = トレーニング モードでは、モデルの速度が 50% 遅くなり、新しいドライバーがモデルを制御しやすくなります。

3. 選択したいモードの点滅回数が経過したら、EZ-Set ボタンを放します。注:必要なモードを逃した場合は、EZ-Set ボタンを押したままにすると、点滅サイクルが繰り返されます。

4. LED が点滅してから緑色に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。選択したモード。

VXL-8s セットアップ プログラミング (速度制御と送信機の校正)

速度制御は工場校正されています。速度コントロールの LED が緑色に点滅している場合は、次の手順に従って再調整してください (スロットルをニュートラル位置に設定します)。

- 完全に充電された 2 つの LiPo バッテリーを VXL-8 に接続します。
- 送信機の電源を入れます (スロットルはニュートラル)。
- EZ-Set ボタン (A) を押し続けます。LED は最初に緑色に変わり、次に赤色に変わります。EZ-Set ボタンを放します。
- LED が赤に 1 回点滅したら、スロットルを引きます。トリガーをフルスロットル位置まで引き、そこに保持します (B)。
- LED が赤に 2 回点滅したら、スロットル トリガーをフルリバースまで押して、そこに保持します (C)。
- LED が緑色に 1 回点滅すると、プログラミングは完了です。LED が緑色に光ります。



緑の次に赤



ワンスレッド



トワイスレッド

VXL-8s プロファイルの選択速度

制御は工場出荷時にプロファイル #1 (100% 前進、ブレーキ、後退) に設定されています。逆方向を無効にする (プロファイル #2)、または 50% の順方向と 50% の逆方向を許可する (プロファイル #3) には、次の手順に従います。速度制御は受信機とバッテリーに接続する必要があり、送信機は前述のように調整する必要があります。プロファイルは、プログラミング モードに入ることによって選択されます。

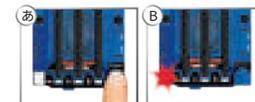
プロファイルの説明

プロファイル #1 (スポーツ モード): 100% 前進、100% ブレーキ、100% 後進
プロファイル #2 (レースモード): 100% 前進、100% ブレーキ、後進なし
プロファイル #3 (トレーニング モード): 50% 前進、100% ブレーキ、50% 後進

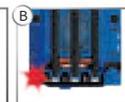
スポーツモードの選択(プロフ

ファイル #1: 100% 前進、100% ブレーキ、100% 後進)

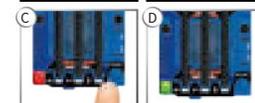
- 2 つの完全に充電されたバッテリー パックを VXL-8 に接続し、送信機の電源を入れます。
- LED が点灯するまで EZ-Set ボタンを押し続けます。LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、次に赤色で点滅し始めます (プロファイル番号を示します)。
- LED が赤色に 1 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅してから緑色に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。



緑から赤、オフ



1回点滅 赤



リリース



個体

レースモードの選択(プロフ

アイル #2: 100% 前進,100% ブレーキ,後進なし)

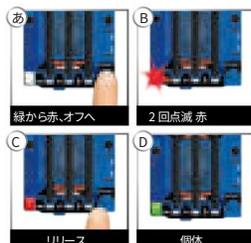
1. 2つの完全に充電されたバッテリー パックを VXL-8 に接続し、送信機の電源を入れます。
2. EZ-Set ボタンを押し続けます。

LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、次に赤色で点滅し始めます (プロファイル番号を示します)。

3. LED が赤色に 2 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。

4. LED が点滅してから緑色に点灯します。

モデルはすぐに運転できる状態になっています。



トレーニングモードの選択(プロ

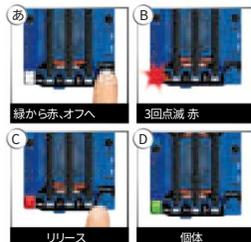
ファイル #3: 50% 前進,100% ブレーキ,50% 後進)

1. 完全に充電された 2 つのバッテリー パックを VXL-8 に接続し、送信機の電源を入れます。
2. LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、赤色で点滅し始めるまで EZ-Set ボタンを押し続けます (プロファイル番号を示します)。

3. LED が赤色に3回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。

4. LED が点滅してから緑色に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。

注:必要なモードを見逃した場合は、EZ-Set ボタンを押したままにすると、ボタンが放されてモードが選択されるまで点滅サイクルが繰り返されます。



アクセサリ電源パネルVXL-8s

電子速度コントロールには、LED ライト キットや追加の冷却ファンなどのオプションのアクセサリに電力を供給するために使用できる電源パネルが装備されています (追加情報については、Traxxas.com を参照してください)。

アクセサリを使用しないときは、ピンの損傷を防ぐために、必ずパネルカバーを取り付けたままにしてください。



LED コードと保護モード

VXL-8s 電子スピード コントロールには、過負荷や過度の温度による損傷から電子機器を保護するように設計された高度な回路が装備されています。保護回路が作動すると、VXL-8s ESC の LED が点灯し、障害を示します。

EZ-SET	ア	ヴ	ア	ヴ	A	E	説明	解決
		<input type="checkbox"/>	過電流保護、ステージ1	運転をやめてください。車両にオーバーギアや損傷がないか点検してください。				
		<input type="checkbox"/>	過電流保護、ステージ2	運転をやめてください。車両にオーバーギアや損傷がないか点検してください。				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低い電圧保護、ステージ1	運転をやめてください。バッテリーを検査して充電してください。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低い電圧保護、ステージ2	運転をやめてください。バッテリーを検査して充電してください。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	過電圧	運転を停止し、バッテリーを取り外してください。バッテリーを検査し、バッテリー電圧を確認します。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	熱のシャットダウン保護、ステージ1	運転をやめてください。ESC の冷却ファンを点検します。続行する前に、電源システムが冷えるまで待ってください。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	熱のシャットダウン保護、ステージ2	運転をやめてください。ESC の冷却ファンを点検します。続行する前に、電源システムが冷えるまで待ってください。
							重要な機能エラー	トラクサスカスタマーサービスにお問い合わせください。
							プログラミングエラー	トラクサスカスタマーサービスにお問い合わせください。



特許取得済みのトレーニング モード (プロファイル #3) は、前進および後進スロットルを 50% 削減します。トレーニング モードは出力を低減するために提供されており、初心者ドライバーがモデルをより適切に制御できるようにします。

運転スキルが向上したら、スポーツモードまたはレースモードに変更するだけでフルパワーで操作できます。



VXL-8 には、前進中に偶発的に後進が作動したり、その逆が発生したりすることを防ぐプログラミングが組み込まれています。完全に停止し、スロットル トリガーを放し、反対のスロットルを加えてモーターを希望の方向に動かす必要があります。



• 緑色の点灯: VXL-8 の電源オン ライト。低電圧検出が有効になっています (LiPo 設定)。



• 現在の LED (A) 赤の点灯: VXL-8 が入っています。過電流保護、ステージ1。ドライブトレインと路面に適切なギア比が使用されていないために、過剰な電流 (アンペア数) が電源システムに流れている場合、VXL-8 は出力を 50% のスロットルに制限します。モデルが走行条件に適切に適合していることを確認してください。

続行する前に、車両に損傷がないか点検してください。リセットするには、バッテリーを取り外してから再度接続します。• 電流 LED (A)



赤色の高速点滅: VXL-8 は過電流保護のステージ2 に入りました。ドライブラインの制限または制限により電流 (アンペア数) が一時的にスパイクしたとき (モデルが物体に突き当たったり、制限的な運転に遭遇したりした場合表面)、VXL-8 は自動的にシャットダウンします (フェールセーフモード)。

車の運転をやめてください。VXL-8 は、電流が回復し (障害物を取り除かれ、モデルが滑らかな走行面に移動し)、スロットルがニュートラルに戻るまで、このモードを維持します。リセットするには、バッテリーを取り外してから再度接続します。



• 電圧 LED (V) 赤の点灯: VXL-8 は低電圧保護、ステージ1 に入りました。バッテリー電圧が LiPo バッテリー パックの最小推奨放電電圧しきい値に達し始めると、VXL-8 は電力出力を次の値に制限します。スロットル 50%。モデルの運転をやめてください。VXL-8 は、バッテリー電圧が回復するか、完全に充電されたバッテリーが接続されるまで、このモードを維持します。



• 電圧 LED (V) 赤でゆっくり点滅: VXL-8 は低電圧保護のステージ2 に入りました。バッテリー電圧が最小しきい値を下回ろうとすると、VXL-8 は自動的にシャットダウンします (フェールセーフモード)。速度コントロールの LED が赤色でゆっくり点滅し、低電圧シャットダウンを示します。モデルの運転をやめてください。VXL-8 は、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードを維持します。



• 電圧 LED (V) 赤で速く点滅: モーターに電力が供給されていない場合、VXL-8 は過電圧保護に入ります。接続されたバッテリー パックのバッテリー電圧が高すぎる場合、VXL-8 はフェールセーフ モードに入ります。警告: 入力電圧が約 33.6 ボルト (バッテリー パックあたり 16.8 最大ピーク入力電圧) を超えると、ESC が損傷する可能性があります。最大合計ピーク電圧が 33.6 を超えないようにしてください。モデルの運転を停止し、バッテリーを取り外してください。



再度ゆっくり点滅: VXL-8 は過電流保護のステージ2 に入りました。VXL-8 は出力をスロットルの 50% に制限します。モデルの運転をやめてください。ESC の冷却ファンを調べて、動作していることを確認します。続行する前に、電源システムが冷えるまで待ってください。



再度自動的に赤で速く点滅: VXL-8 はフェールセーフモード保護の運転をやめてください。ESC の冷却ファンを調べて、動作していることを確認します。続行する前に、電源システムが冷えるまで待ってください。温度に関する警告が頻繁に発生する場合は、(純正からの)ギアの入力すぎ、過度に攻撃的な連続高速運転、車両の損傷、または深い砂、重い泥、背の高い草などの状況での運転が原因である可能性があります。• 電流/電圧/温度 LED が赤で点灯、またはすべての LED が赤で速く点滅: サーマル シャットダウン保護と低電圧保護 (上記を参照) が同時に発生しているか、重大なエラーが発生している可能性があるため、VXL-8 はこの保護モードに入っています。機能またはプログラミングエラー。バッテリー



を取り外し、Traxxas カスタマー サービスに問い合わせてください。



補助。

モデルを操作する

さあ、楽しい時間を過ごしましょう！このセクションには、モデルの運転と調整に関する手順が含まれています。先に進む前に、留意すべき重要な注意事項がいくつかあります。

XRT は高速走行

可能な大型車両であり、走行するには広い面積が必要です。XRT が見物人と衝突したり、歩行者や車両の交通を妨げたりする機会のない場所を選択してください。ラジコンカーの走行を禁止する地方自治体（学校や公園など）の条例や標識がないかも走行前に確認してください。XRT は強力なので、手入れされた景観や保存された景観にわだちができたり、損傷したりする可能性があります。XRT が損害を引き起こす可能性のあるエリアを避け、他の人に配慮してください。

異なる種類の路面を混合して走行することをお勧めします。背の高い草や深い砂、その他の高負荷条件で頻繁に走行すると、モーターや速度制御装置が過熱する可能性があります。

これにより、システムが冷えるまで出力が低下します。バッテリーパック間で電源システムが冷却されるまでの時間を考慮することをお勧めします。

- 実行の合間にモデルを数分間冷却させます。これは、長時間の稼働が可能な大容量バッテリーパックを使用する場合に特に重要です。温度を監視すると、バッテリーとモーターの寿命が延びます。温度監視に関する上級ユーザー向け情報については、28 ページを参照してください。
- バッテリー残量が少ない状態でモデルを操作し続けしないでください。制御を失う可能性があります。バッテリー電力低下の兆候には、動作の遅さ、車両の応答の遅れ、または低電圧検出回路による ESC のシャットダウンが含まれます。バッテリーが弱っている最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。送信機の電池が消耗すると、電源ランプが赤く点滅し始めます。直ちに停止し、新しい電池を取り付けてください。
- 夜間、公道、または大勢の人混みの中でモデルを運転しないでください。人の。
- モデルが物体に突き当たった場合は、モーターを継続して回転させないでください。続行する前に障害物を取り除いてください。モデルで物を押ししたり引いたりしないでください。
- 無線で制御するモデルのため、無線の影響を受けます。制御できない多くのソースからの干渉。無線干渉により制御が一時的に失われる可能性があるため、安全を確保してください。

衝突を防ぐために、モデルの周囲の全方向にスペースのマーヅンを確保します。

- モデルを運転するときは常に良識ある常識に従ってください。意図的に乱暴で乱暴な運転をすると、性能が低下したり部品が破損したりするだけです。モデルを大切に扱い、未永くご愛用ください。
- 高性能車両は小さな振動を発生します。時間の経過とともにハードウェアが緩みます。車両のホイールナットやその他のネジを頻繁にチェックして、すべてのハードウェアが適切に締められていることを確認してください。

稼働時間について

稼働時間に影響を与える大きな要因は、バッテリーの種類と状態です。バッテリーのミリアンペア時 (mAh) 定格によって、その「燃料タンク」の大きさが決まります。3000mAh バッテリーパックは、理論的には 1500mAh スポーツパックの 2 倍長く動作します。利用可能なバッテリーの種類や充電方法は多岐にわたるため、モデルの正確な動作時間を示すことは不可能です。

実行時間に影響を与えるもう 1 つの主な要素は、モデルの駆動方法です。モデルを停止から最高速度まで繰り返し運転したり、激しい加速を繰り返ししたりすると、実行時間が短くなる可能性があります。

稼働時間を増やすためのヒント・購入

入できる最大 mAh 定格のバッテリーを使用してください。• 高品質のピーク検出充電器を使用してください。• バッテリーと充電器のメーカーが提供するメンテナンスと手入れの指示をすべて読み、それに従ってください。• VXL-8 を低温に保ちます。ESC ヒートシンク全体に十分な空気の流れを確保します。• ギア比を下げます。小さいピニオンまたは大きい平歯車を取り付けると、歯車比が低下し、モーターとバッテリーからの電力消費が減少し、全体的な動作温度が低下します。• モデルを保守します。汚れや破損した部品が原因となることのないように注意してください。

ドライブトレイン内のバインディング。モーターを清潔に保ちます。

mAh 定格と出力バッテリーの mAh 定格は、最高速度のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。高容量のバッテリーパックは、低 mAh 定格のパックよりも重負荷時の電圧降下が少なくなります。電圧電位が高いため、バッテリーが放電し始めるまで速度を上げることができます。

濡れた状態での走行新しい Traxxas モデルは、モデル内の電

子機器 (受信機、サーボ、電子速度制御) を保護する耐水機能を備えて設計されています。これにより、水たまり、濡れた草、雪、その他の濡れた状況でもモデルを自由に運転して楽しむことができます。高い耐水性を備えていますが、このモデルは水中使用可能または完全に 100% 防水であるかのように扱うべきではありません。防水性は、取り付けられた電子部品にのみ適用されます。湿った状態での運転では、金属部品の腐食を防ぎ、適切な機能を維持するために、機械部品と電気部品に追加の注意とメンテナンスが必要です。

注意事項 • 適切

なケアを行わないと、モデルの一部の部分が水との接触により重大な損傷を受ける可能性があります。モデルのパフォーマンスを維持するには、濡れた状態での走行後は追加のメンテナンス手順が必要になることに注意してください。

追加のケアやメンテナンスの責任を引き受けたくない場合は、濡れた状態でモデルを実行しないでください。•すべてのバッテリーが湿った環境で使用できるわけではありません。バッテリーが湿った状態でも使用できるかどうかについては、バッテリーのメーカーに問い合わせてください。

- Traxxas TQi 送信機は耐水性がありません。雨などの濡れた状態にさらさないでください。
- 暴風雨や雷が発生する可能性のある悪天候時には、モデルを操作しないでください。
- モデルを塩水 (海水)、汽水 (淡水と海水の間)、またはその他の汚染された水と接触させないでください。塩水は導電性が高く、腐食性が高くなります。ビーチ上またはその近くでモデルを実行する予定がある場合は注意してください。

車両を濡れた状態で走行させる前に1. 「車両を濡れた状態で走行させた後」のセクションを参照してください。

続行する前に「条件」を確認してください。ウェットランニングでは追加のメンテナンスが必要であることを必ず理解してください。

2. ホイールには、通常の走行中に空気がタイヤに入出入りできるように小さな穴が成形されています。タイヤに穴が開けられていないと、水がこれらの穴に入り込み、タイヤ内に閉じ込められてしまいます。各タイヤに 2 つの小さな穴 (直径 3 mm または 1/8 インチ) を切ります。各穴はタイヤの中心線の近くに、180 度離れた位置にある必要があります。

3. 受信機ボックスの O リングとカバーが取り付けられていることを確認します。正しく、安全に。ネジがしっかりと締められ、青い O リングがカバーの端からはみ出していないことを確認してください。
4. バッテリーが湿った状態でも使用できることを確認します。
5. 低いギアを使用します (11T または平歯車などの小さなビニオンギア) 泥、深い水たまり、雪、またはタイヤが制限され、モーターにはるかに高い負荷がかかるその他の同様の状況で走行する場合。

モーターに関する注意事項

- Velineon モーターの寿命は、泥や水の中では大幅に短くなる可能性があります。モーターが過度に濡れたり水没した場合は、余分な水がなくなるまでスロットルを非常に軽くして (モーターをゆっくりと回転させて) ください。水で満たされたモーターにフルスロットルを適用すると、モーターが急速に故障する可能性があります。湿式モーターでのモーター寿命は、運転習慣によって決まります。モーターを水中に沈めな
- いでください。•湿った状態で運転するときは、温度によってモーターをギア調整しないでください。モーターは水との接触により冷却されるため、適切なギアの正確な指示が得られません。•ぬかるみの中でモデルを操作する場合は、特に注意してください。

泥の粘着性やシャーン上の泥の蓄積によりモデルに負担がかかっているように見える場合は、操作を中止してください。モーターに泥を溜めたり、モーターの周囲に泥を詰めたりしないでください。

濡れた状態で車両を走行させた後1. タイヤを高速で回転させて水を「飛ばす」ことで、タイヤの水を抜きます。これを行う 1 つの方法は、(可能であれば) 平らで乾いた路面で高速パスを数回行うことです。

2. 電池を取り外します。
3. 庭のホースなどの低圧水でトラックから余分な汚れや泥を洗い流します。高圧洗浄機などの高圧水を使用しないでください。ベアリングやディファレンシャルなどに水がかからないようにしてください。
4. 圧縮空気でトラックを吹き飛ばします (オプションですが、おすすされた)。圧縮空気を使用する場合は安全メガネを着用してください。
5. トラックから車輪を取り外します。
6. すべてのベアリング、ドライブトレイン、ファスナーに WD-40 をスプレーします。 ^② また同様に水を置換する軽油。
7. トラックを立てておくか、圧縮空気で吹き飛ばしてください。トラックを暖かく日当たりの良い場所に置くと、乾燥が促進されます。閉じ込められた

数時間はトラックから水と油が垂れ続けるだろう。
下の表面を保護するために、タオルまたはボール紙の上に置きます。

8. 予防措置として、密閉された受信機ボックスを取り外します。

カバー。可能性は低いですが、湿潤走行中に湿気や微量の湿気や結露が受信機ボックスに侵入する可能性があります。
これにより、受信機内の敏感な電子機器に長期的な問題が発生する可能性があります。
保管時に受信機ボックスのカバーを外すと、内部の空気が乾燥します。このステップにより、受信機の長期的な信頼性を向上させることができます。受信機を取り外したり、ワイヤーを取り外したりする必要はありません。

9. 追加のメンテナンス: 以下の項目の分解、点検、注油の頻度を増やしてください。これは、長時間湿った状態で使用した後、または車両を長期間 (1 週間以上など) 使用しない場合に必要です。

この追加のメンテナンスは、閉じ込められた湿気による内部のスチールコンポーネントの腐食を防ぐために必要です。
*スタブ アクスル ハウジング ベアリング: ベアリングを取り外し、洗浄し、油を再注入します。

•ディファレンシャル: ディファレンシャルコンポーネントを取り外し、分解し、洗浄し、グリースを再塗布します。金属ギアの歯にホイール ベアリング グリース (自動車部品店で購入) を軽く塗布します。分解および再組み立てについては、分解図を参照してください。

レシーバーボックス: 防水シールの維持

無線機の取り外しと取り付け受信機ボックスの独自の設計により、ボックス内の防水シールを維持する能力を失うことなく、受信機の取り外しと取り付けが可能になります。特許出願中のワイヤー クランプ機能により、アフターマーケットの無線システムを設置し、受信機ボックスの防水機能を維持することもできます。

レシーバーの取り外し 1. カバー

を取り外すには、2 本の 3x15mm キャップヘッドネジを取り外します。

2. 受信機を箱から取り出すには、単に持ち上げて横に置きます。アンテナ ワイヤはまだクランプ領域内にあるため、また取り外すことができません。

3. 2 つの 3x15 キャップヘッドを取り外してワイヤークランプを取り外します。
ネジ。

4. 受信機からサーボケーブルを抜き、受信機からサーボケーブルを取り外します。
受信機。

受信機の設置

1. 受信機を取り付ける前に、必ずワイヤーを受信機ボックスに取り付けてください。
2. アンテナ線とサーボケーブルを受信機ボックスに取り付けます。
3. 受信機ボックス内のワイヤーガイドを使用してワイヤーをきれいに配置します。余ったワイヤーは受信機ボックス内で束ねさせていただきます。どのワイヤがどのチャネル用であるかをラベル付けします。

4. シリコングリースの小さなビーズを塗布します。
(Traxxas 部品 #1647) をワイヤークランプに取り付けます。

5. ワイヤー クランプを取り付け、2 本の 3x15 キャップネジをしっかりと締めます。

6. 両面粘着フォームの使用
テープを貼り付けて、受信機をボックスに取り付けます。

注: 最高のパフォーマンスを得るには、図に示すように受信機を元の方向に取り付けることをお勧めします。

7. ワイヤーを受信機に差し込みます。配線については12ページを参照してください。
図。

8. ボックスのライト パイプが受信機 LED と位置合わせされていることを確認します。
O リングがレシーバー ボックスの溝に正しく取り付けられていることを確認し、カバーが O リングを挟んだり損傷したりしないようにしてください。
ともかく。

9. カバーを取り付け、2 つの 3x15 キャップヘッドを締めます。

ネジをしっかりと締めてください。

10. カバーを調べて、O リングのシールが見えないことを確認します。



基本的なチューニング調整

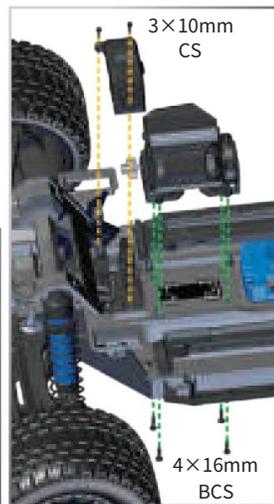
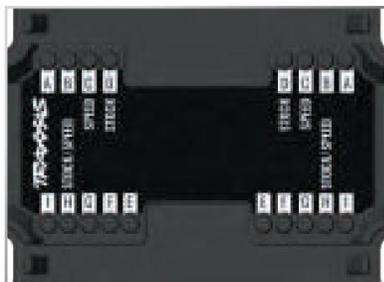
モデルの運転に慣れてきたら、運転パフォーマンスを向上させるために調整が必要になる場合があります。

ギアメッシュの調整不適切

なギアメッシュは、平歯車の剥離の最も一般的な原因です。XRTにより、不適切なギアの噛み合いは事実上不可能になります。ピンシステムにより、選択したピニオンとスパークギアに応じてモーターを適切な位置に設定できます。

ピンシステムにアクセスするには、シャーシの底部から4本のモーターマウントネジを取り外し、モーターを持ち上げて取り外します。次に、ギアカバーを固定している2本の3x10mmネジを外し、ギアカバーを取り外します。そうするとピンが露出します。モーターとシャーシの間にあるピンを紛失しないように注意してください。

ピン位置表から希望のギアを選択します。必要に応じてスパークギアとピニオンギアを交換します。モーターを取り付けるときは、選択したギアに基づいてピンを適切な位置に取り付けます。底部の4本のピンは、ギアが正しく噛み合うようにモーターを適切な位置にロックするのに役立ちます（ピニオン/平歯車の組み合わせ 26/46、22/50、または 18/54 では、「I」スロットで2本のピンのみが使用されます）。シャーシの底部から挿入した4x16mm ボタン頭キャップネジ4本を使用して、モーターを所定の位置に固定します。



注:必要に応じて、ピンを使用せずにギアメッシュを手動で設定することもできます。ピンを取り外した状態で、底部にある4x16mm ボタンヘッドキャップネジ4本を使用してギアメッシュを設定します。

4本の4x16mm ボタン頭キャップネジを緩めます。ノート用紙を細く切り、ギアのメッシュに差し込みます。モーターとピニオンギアを平ギアにスライドさせます。4本の4x16mm ボタン頭キャップネジを締め、紙片を取り外します。新しい紙片を歯車に巻き付けずに通すことができます。新しい紙片を歯車に巻き付けずに通すことができます。

サーボのセンタリングXRTのステアリングサーボからサーボホーンを取り外した場合、またはサービスまたはクリーニングのためにサーボを取り外した場合は、サーボホーンの取り付けまたはサーボの取り付け前にサーボを再センタリングする必要があります。

- ステアリングサーボからサーボホーンを取り外します。
- ステアリングサーボを受信機のチャンネル1に接続します。電子速度制御 (ESC) をチャンネル2に接続します。サーボリードの白いワイヤは受信機のLEDに向かって配置されます。
- 送信機の電源スイッチをオンにします。送信機の電池が消耗していないことを確認してください。
- TSMをオフにします (17 ページを参照)。
- 送信機のステアリングトリムノブを中央の「0」位置まで回します。
- 次のステップでモーターが回転しないように、青と白の両方のモーターコネクタを外します (12 ページを参照)。新しいバッテリーパックをスピードコントロールに接続し、ESC をオンにします (18 ページを参照)。サーボの出力軸は自動的に中心位置にジャンプします。
- サーボホーンをサーボ出力軸に取り付けます。サーボを平置きした状態で、サーボホーンが中心位置になるように垂直に取り付けてください。
- ステアリングを戻してサーボの動作を確認します。機構が適切に中心に配置され、両方向に均等に投げられることを確認するために前に進みます。送信機のステアリングトリムノブを使用してサーボホーンの位置を微調整し、ステアリングホイールが中立のときにモデルが真っ直ぐに追従するようにします。



ピン位置表

平歯車

	46	50	54
11	-	-	A,F
12	-	-	B,F
13	-	-	B,G
14	-	あ,え	C,G
15	-	A,F	C,H
16	-	B,F	D,H
17	-	B,G	D,私
18A	E	C,G	-
19A	F	C,H	-
20	B, F	D, H	-
21	B, G	D, 私	-
22C	G	-	-
23C	H	-	-
24D	H	-	-
25	D, 私	-	-
26	-	-	-

ショックの微調整4つの GTX ショック

グはハンドリングに大きく影響します。最適なパフォーマンスを維持するには、定期的なメンテナンスが必要になる場合があります。

運転スタイルや走行環境に合わせてショックを調整することもできます。ショックを再構築する場合、またはピストン、スプリング、またはオイルに変更を加える場合は、必ずショックをベア（フロントまたはリア）で変更してください。

GTX ショックを分解するには:

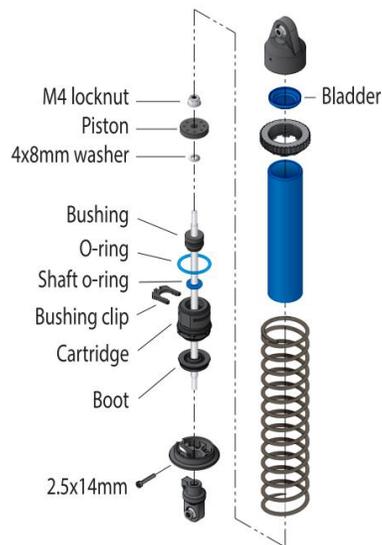
1. 下部スプリングリテーナーから

2.5x14mm キャップスクリューを取り外します。
ロアスプリングリテーナーとショックスプリングを取り外します。

2. カートリッジ/ショックシャフト/ピistonアセンブリをショック本体から取り外します。

3. M4 ロックナット、ピストン、4x8mm ワッシャー、および既存のカートリッジアセンブリをショックシャフトから取り外します。

4. 新しいカートリッジをショックシャフトに取り付けます。



注意:新しいカートリッジはショックシャフトに組み付ける必要があります。カートリッジを個別に組み立ててシャフトにスライドさせようとししないでください。シャフトのOリングが破損し、漏れの原因となる場合があります。

5. 逆の順序で再度組み立てます。シールの寿命を延ばすために、必ず 100% 純粋なシリコン ショック オイルをショックに充填してください。工場出荷時の GTX ショックには、フロントに 30W のシリコン オイル、リアに 40W のシリコン オイルが充填されています。ショックフルードを注入する際は、必ず気泡を逃がしてください。

粘度の高いショックオイルを使用したり、より薄いショックオイルを使用したり、ショック内の流体の中を移動するピストンを変更したりすることで、ショックを調整できます。

ネジ式スプリングリテーナーを使用して車高を調整できます。
サスペンションアームが地面と平行になるように車高を調整します。XRT が順番にどのように処理するかを観察してください。適切にセットアップすると安定性が増し、スピナウトを防ぐことができます。
さまざまなショックオイルと車高を試して、自分の運転スタイルや状況に最適なものを見つけてください。

モデルのメンテナンス



圧縮空気やスプレークリーナーや潤滑剤を使用するときは、必ず保護眼鏡を着用してください。



高性能車は走行中に小さな振動が発生します。これらの振動により、時間の経過とともにハードウェアが緩む可能性があります。

注意が必要です。ホイールナットやその他の金具を常にチェックし、必要に応じて締めたり交換したりしてください。

モデルを最高の稼働状態に保つには、タイムリーなメンテナンスが必要です。
以下の手順は非常に真剣に受け止める必要があります。

車両に明らかな損傷や摩耗がないか頻りに検査してください。
以下を探し

1. 部品に亀裂、曲がり、損傷があるか。
2. ホイールとステアリングに固着がないか確認します。
3. ショックアブソーバの動作を確認します。
4. 配線にほつれや接続の緩みがないか確認します。
5. 受信機とサーボの取り付け、および速度制御を確認します。
6. レンチを使用してホイールナットの締め具合を確認します。
7. 無線システムの動作、特にバッテリーの状態を確認します。
8. シャーシ構造またはサスペンションのネジに緩みがないか確認します。
9. ステアリングサーボの動作を確認し、固着がないことを確認します。
10. ギアの磨耗、歯の破損、ギア間にゴミが詰まっていないか点検します。
歯。

その他の定期メンテナンス: クッシュ

ユドライブ: クッシュ ドライブ システムはメンテナンスを必要としませんが、定期的な検査する必要があります。クッシュドライブに遊び（ドライブシャフトも動かない平歯車の動き）が生じた場合は、クッシュドライブを分解してエラストマーエレメント（部品番号6465X）に損傷がないか検査し、必要に応じて交換してください。

- シャーシ: 最適な実行時間と温度が得られるようにコンポーネントを冷却するために、モーターと ESC に草、土、汚れが付着しないようにしてください。
- サスペンション: サスペンション ピンの曲がりや汚れ、つま先リンクの損傷、ネジの緩み、応力や曲がりの兆候など、モデルに損傷の兆候がないか定期的に検査してください。必要に応じてコンポーネントを交換します。

• ステアリング: 時間の経過とともに、ステアリング システムの緩みが大きくなる場合があります。つま先のリンクは使用により磨耗する可能性があります（部品番号 7748）。工場出荷時の公差を復元するには、必要に応じてこれらのコンポーネントを交換します。

• ショック: ショック内のオイルレベルを満タンに保ちます。シールの寿命を延ばすために、100% 純粋なシリコン ショック オイルのみを使用してください。ショックの上部付近で漏れが発生している場合は、トップ キャップのブラダーに、締めすぎによる損傷や歪みの兆候がないか点検してください。ショックの底部から漏れている場合は、再構築の時期です。2 つのショック用の Traxxas 再構築キットは部品番号 7762 です。

• ドライブライン: ドライブシャフトを検査して、ドライブピンに亀裂や極度の磨耗がないか確認します。駆動系コンポーネントが摩耗すると、さらに駆動系ノイズが発生する可能性があります。ギヤカバーを外します。平歯車の摩耗を検査し、ピニオンギアの止めネジの締め具合を確認します。必要に応じて、コンポーネントを締めたり、掃除したり、交換したりします。

• トルク バイアス センター ドライブ ユニット: XRT には、トルク バイアス センター ドライブ ユニットが装備されています。ドライブユニットは再構築可能ですが、詳細なメンテナンス手順と 20MM ウェイトデフオイル（部品番号 5040）の使用が必要です。追加情報とハウツービデオについては、Traxxas.com をご覧ください。

保管一日

のモデルの走行が終わったら、圧縮空気で吹き飛ばすか、柔らかい毛のペイントブラシを使用して車両のほこりを取り除きます。モデルを保管するときは、必ずモデルからバッテリーを取り外してください。モデルを長期間保管する場合は、送信機から電池も取り外してください。

ご質問がある場合、または技術サポートが必要な場合は、Traxxas までお電話ください。

1-888 - トラクサス

(1-888-872-9927) (米国居住者のみ)

フロントサスペンションモジュールの取り外し1. ステアリングリンクから 3x15mm ボタンヘッドキャップネジを取り外します。

- シャーシの上部から 4x25mm ボタン頭キャップネジ (2本) を取り外します。
- シャーシの上部から 4x30mm ボタンヘッドキャップネジ (2) を取り外します。
- 受信機ボックスの隣のシャーシから 4x16mm ボタン頭キャップネジ (4本) を取り外します。
- 4x14mm ボタンヘッドキャップネジ (2本) をシャーシの底部から取り外します。
- フロントサスペンションアセンブリをシャーシから引き抜きます。アセンブリをしっかりと引き抜きます。

モジュールを再組み立てするには、手順を逆の順序で実行します。

リアサスペンションモジュールの取り外し1. シャーシの上部から 4x25mm ボタン頭キャップネジ (2) を取り外します。

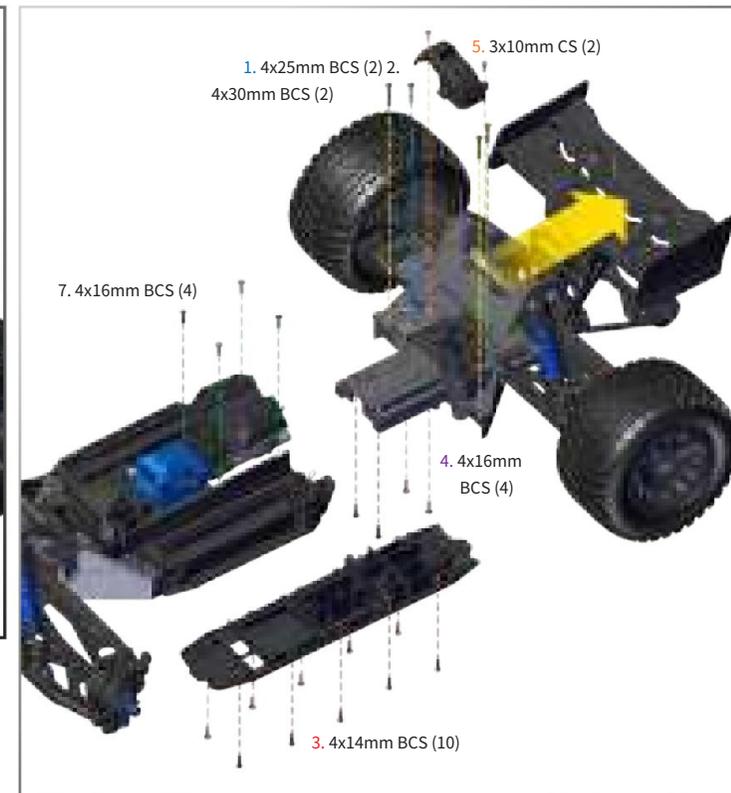
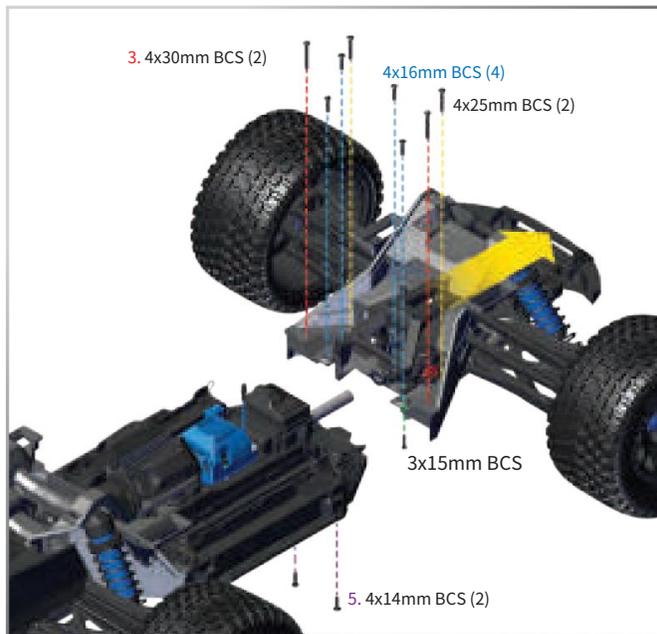
- シャーシの上部から 4x30mm ボタン頭キャップネジ (2本) を取り外します。
- シャーシの底部から 4x14mm ボタン頭キャップネジ (10) を取り外し、中央のネジを取り外します。
スキッドプレート。
- 4x16mm ボタン頭キャップネジ (4本) をモーターマウントから取り外します。
- ギアカバーから 3x10mm キャップネジ (2本) を取り外します。
- モーターを邪魔にならない位置に回転させ、バッテリー収納部に置きます。モーター線やセンサー線にストレスを与えないように注意してください。
- モーターの隣のシャーシ中央から 4x16mm ボタンヘッドキャップネジ (4本) を取り外します。
- リアサスペンションアセンブリをシャーシから引き抜きます。アセンブリをしっかりと引き抜きます。

モジュールを再組み立てするには、手順を逆の順序で実行します。

重要！・リア

サスペンションモジュールを再度取り付けるときは、センタードライブシャフトが

アダプターはトルクバイアスセンタードライブユニットに取り付けられます。アダプターが正しく取り付けられていないと、センタードライブシャフトに接続できません（車両は後輪駆動のみになります）。センタードライブシャフトが損傷したり外れたりすることなくフェルトドライブシャフトブッシュを通過していることを確認します。ドライブシャフトが正しく配置されていない場合は、ドライブシャフトは簡単にブッシュを通過します。ブッシングがスロットから外れる場合は、バルクヘッドを分解して、ブッシングの位置を変更して、再度組み立てます。



- モーターを再度取り付けるときは、ギアの噛み合いピンが正しい位置にあることを確認してください(24ページのピンの位置表を参照)。モーターをリアバルクヘッドに置き、ギアカバーを 3x10mm キャップスクリュー (2本) で取り付けます。これにより、トラックを裏返しても適切なギアの噛み合いを維持できるようになります。トラックを裏返し、4x16mm ボタン頭キャップネジ (4本) をモーターマウントに取り付けます。



高度なチューニング調整

ギアの互換性表: 以下の表は、モデルに推奨されるギアの組み合わせ範囲を示しています。

平歯車

	46	50	54
11	-	-	4.91
12	-	-	4.50
13	-	-	4.15
14	-	3.57	3.86
15	-	3.33	3.60
16	-	3.13	3.38
17	-	2.94	3.18
18	56	2.78	3.00
19	142	2.63	-
20	130	2.50	-
21	2.19	2.38	-
22	1.09	2.27	-
23	2.00	-	-
24	1.92	-	-
25	1.87	-	-
26	1.77	-	-

すぐに使えるセットアップ:ほとんどのランニングに推奨される 4S/6S/8S LiPo、2S 7600mAh + 推奨 3S 8400mAh + 推奨 4S 6700mAh + 推奨 オプションのギアを提供します。

硬くて滑らかな表面での高速走行の場合のみ、4S/6S/8S LiPo と併用してください。2S 7600mAh + 推奨 3S 8400mAh + 推奨 4S 6700mAh + 推奨

4S/6S/8S LiPo の使用可能なギア範囲。トルクと稼働時間が増加します。2S 5000mAh + 推奨 3S 5000mAh + 推奨 4S 6700mAh + 推奨

硬くて滑らかな表面での高速走行の場合のみ、4S/6S/8S LiPo と併用してください。2S 7600mAh + 推奨 3S 8400mAh + 推奨 4S 6700mAh + 推奨

フィットします。4S/6S/8S LiPo には使用できません。純正電源システム (VXL-8s ESC および 1200XL モーター) との使いには適していません。

合いません。

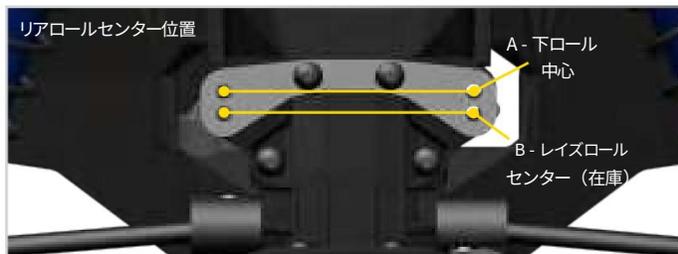
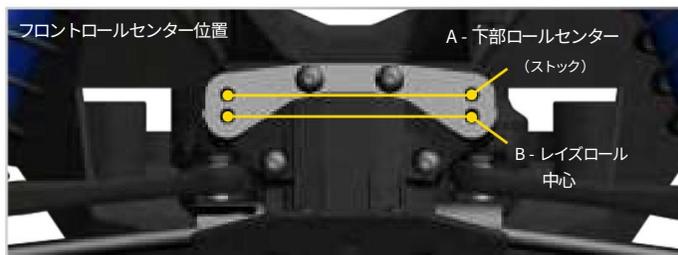
ロールセンター

XRT には、フロントおよびリア サスペンションのロールセンター ジオメトリを調整するための機能が備わっています。ロールセンターとは、コーナリングの力を受けたときにシャーシが回転する仮想軸を指します。キャンバークリンクの内端を低い位置に取り付けることで、車両のロールセンターを高くすることができます。ロールセンターを上げると、車両のロール剛性が効果的に向上します (スウェイバーの取り付けと同様)。

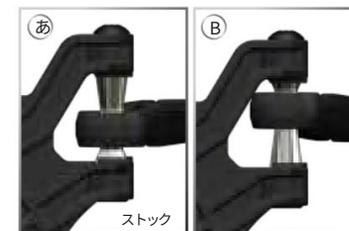
車両の一端に転がり抵抗を追加すると、反対側の端にトラクションが追加される傾向があります。たとえば、後部の転がり抵抗を増加させると、前輪のトラクションが増加し、場合によってはステアリングが増加します。

フロントとリアのロールセンターを均等に高めることで、ハンドリングバランスを変えることなく全体の転がり抵抗を向上させます。工場出荷時のデフォルトの位置は、トラックの運転がより簡単で寛容になり、旋回時にトラクションロールが起こりにくくなるように設計されています。XRT には、チューニングのために調整できる 2 つのロールセンターポジションがあります。

上の位置にするとロールセンターが下がります。一番下の位置ではロールセンターが上がります。XRT は、箱から出してすぐにハンドリングとパフォーマンスに最適なロールセンターを備えてセットアップされています。純正設定ではリアリンクは下位置、フロントリンクは上位置を使用します。



注:フロント リンクを下位置 (純正ではない) に配置する場合、ステアリングのピボット ボールを反転する必要があります。外側のピボット ボールは、ボックスの下部の位置 (A) から出てきます。ロールセンターを移動する場合は、オフセットを反転する必要があります (B)。



ギアモデル

のトランスミッションの最も重要な利点の 1 つは、利用可能なギア比の幅が広いことです。ギアを変更すると、モデルの速度を微調整したり、バッテリー パックとモーターの温度を制御したりできます。消費電流と温度を下げるには、低いギア比 (数値的には大きい) を使用します。最高速度を上げるには、より高いギア (数値的には低い) を使用します。ギアチャートに記載されていない組み合わせの全体の比率を計算するには、次の式を使用します。

$$\frac{\# \text{ 平歯車の歯}}{\# \text{ ピニオンギアの歯}} \times 8.11 = \text{ファイナルギヤ比}$$

より高いギア比を使用する場合は、バッテリー、モーター、および速度制御の温度を監視することが重要です。バッテリーが非常に熱い (150°F) か、モーターが触れられないほど熱くなる (200°F) 場合は、モデルがオーバークリアになっていて、過大な電流が流れている可能性があります。

この温度テストは、モデルが工場出荷時の標準重量に近く、過度の摩擦、引きずり、拘束がなく自由に動作し、バッテリーが完全に充電されており、良好な状態にあることを前提としています。

注:ピンシステムを使用しない場合、スパークギアやピニオンギアを変更した場合は、ギアの噛み合いを確認して調整してください。

Velineon 1200XL ブラシレスモーターを搭載したモデルです。各モデルに標準装備されているギアの組み合わせにより、全体的な加速と最高速度が向上します。高速ギアを使用する場合、オフロードや発進と停止の繰り返しにはお勧めできません。

温度と冷却XRT には、モーター温度センサー、モーター冷却ファン、モーター ヒートシンク、電子速度制御冷却ファンなど、電子コンポーネントの冷却に役立ついくつかの機能が含まれています。

モーター温度センサーは工場に取り付けられており、正確な遠隔測定データとモーターの熱過負荷保護を提供します。車両のメンテナンスなどで温度センサーを取り外した場合は、必ず正しく取り付けください。センサーは、サーミスター（温度センサーの上部にある小さなコンポーネント）がモーターの上部（ワイヤーがモーターから出ている側）に来るように取り付けする必要があります。センサーもモーターの中心に配置する必要があります。センサーが正しく取り付けられていない場合、不正確または誤った読み取り値が速度制御装置に送信され、モデルの性能が損なわれる可能性があります。温度センサーなしで XRT を操作しないでください。センサーがないか、正しく取り付けられていない場合、過熱やモーターの永久的な損傷が発生する可能性があります。過熱による損傷は限定保証の対象外です。

XRT には、工場に取り付けられた冷却フィンも備えています。これらの冷却フィンは、モーターから熱を逃がすのに役立ちます。また、電子速度制御には冷却ファンが搭載されており、高電流モーター用途での VXL-8 の冷却を支援します。

密閉型ギヤディファレンシャルの調整フロントおよびリアのギヤディファレンシャルの動作は、サスペンションシステムを大幅に分解したり取り外したりすることなく、さまざまな運転条件やパフォーマンス要件に合わせて調整できます。

一貫した長期パフォーマンスを維持するために、ディファレンシャルは工場出荷時に密閉されています。ディファレンシャル内のオイルを低粘度または高粘度のオイルに交換すると、ディファレンシャルの性能特性が変化します。ディファレンシャル内の粘度の高いオイルに交換すると、トラクションが最も少ない状態でモーターのパワーがホイールに伝達される傾向が減少します。滑りやすい路面で急旋回をするときにこの現象に気づくことがあります。ターンの内側にある負荷のない車輪はトラクションが最も少なく、傾く傾向があります。

非常に高い回転数まで回転します。オイルの粘度が高い（厚い）と、ディファレンシャルがスリッパ制限付きディファレンシャルのように機能し、左右のホイールにより均等な動力が分配されます。

XRT は一般に、トラクションの低い路面を登ったりレースしたりするときに、粘度の高いオイルの恩恵を受けます。注:オイルが重いと、1 つ以上のタイヤが地面から離れている場合でも、動力を伝達できます。これにより、車両がトラクションの高い路面で横転する可能性が高くなります。

工場出荷時に、フロントディファレンシャルにはSAE 10,000W粘度のシリコンオイルが充填されています。リアデフには30,000Wのオイルが充填されています。

デフにはシリコンオイルのみを使用してください。Traxxas は、SAE 10,000W、30,000W、および 50,000W の粘度オイルを提供しています（パーツリストを参照してください）。オイルを交換するには、デフを車両から取り外し、分解する必要があります。以下の手順に従って、フロントおよびリアディファレンシャルにアクセスして補充します。

フロントおよびリアディファレンシャルの取り外し: 1.

- 2本の4x16mm ボタン頭キャップネジを取り外します。
フロントバンパーをスキッドプレートに固定します。フロントバンパーを上に戻して邪魔にならないようにします。
- リアバンパーをウイングマウントに固定している2本の4x22mm ボタン頭キャップネジを取り外します。
翼/翼マウントを上に戻して邪魔にならないようにします。
- 4x15mm ボタン頭キャップネジ (5) を取り外します。
デフカバーを固定します。
注:カバーの底部にあるネジに到達するには、スキッド プレートを押し下げて邪魔にならないようにし、2.5 mm ボール ドライバーを使用します。

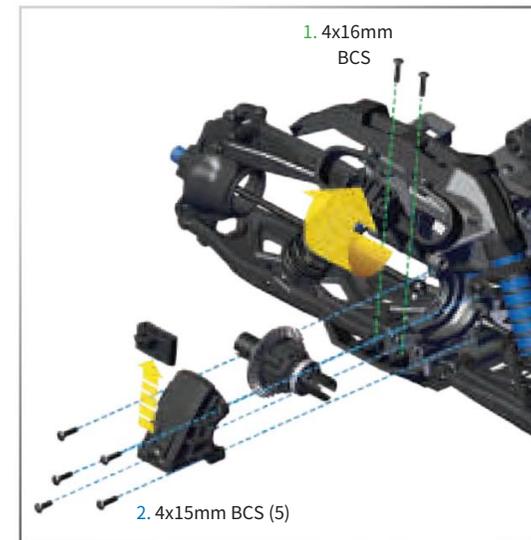
4. デフカバーを取り外します。
5. ディファレンシャルをハウジングから取り外します。ドライブアクスルは、デフカップからスライドさせて外します。ディファレンシャルを取り付けるには、手順を逆の順序で行ってください。

ディファレンシャルの補充:完全なデ

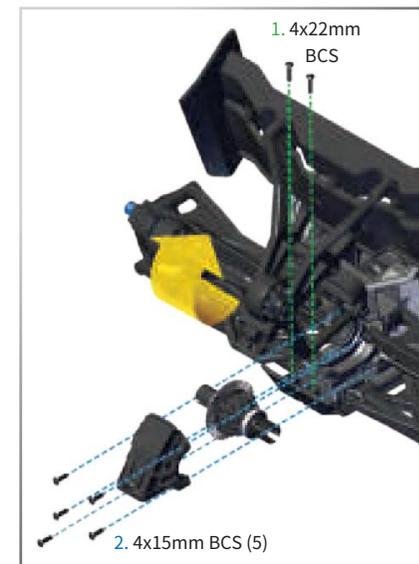
ィファレンシャル アセンブリについては、モデルに付属のサービスおよびサポート ガイドの XRT フロント アセンブリを参照するか、Traxxas.com/support でオンラインを参照してください。

- 4本の3x15mm キャップネジを取り外し、デフケースとリングギアを引き離します。タオルの上で作業して、ディファレンシャルから滴り落ちた液体を集めます。
- デフからフルードを排出します。これを容易にするために、ディファレンシャルからスパイダーギアを取り外した方がよい場合があります。
- スパイダーギアをディファレンシャル ケースに戻します (取り外した場合)。デフケースにスパイダーギアが半分浸るまでフルードを充填します。
- ネジ穴の位置に注意して、リングギアとディファレンシャルケースを再結合します。ゴム製ガスケットが所定の位置にあることを確認してください。そうしないと、ディファレンシャルが漏れる可能性があります。
- 4本の3x15mm キャップネジを取り付け、しっかりと締めます。

フロントデフの取り外し



リアディファレンシャルの取り外し



TQiアドバンスチューニングガイド

やり直す工場出荷

時のデフォルトに戻すTQi トラン
スマッターをプログラミングす
るとき、白紙の状態からやり直す必
要があると感じるかもしれませ
ん。次の簡単な手順に従って、工
場出荷時の設定を復元します。

1. 送信機の電源をオフにします。
2. MENU と SET の両方を押します。
3. 送信機の電源を入れます。
4. MENUとSETを放します。
送信機の LED が赤く点滅します。
5. SET を押して設定をクリアします。
LEDが点灯します
緑色の場合、送信機はデフォルトに
戻ります。

スロットル トリム シーク モード

マルチファンクション ノブがスロットル トリムに
設定されている場合、送信機はスロットル トリ
ム設定を記憶します。送信機がオフの
とき、または送信機を使用して他のモデルを制
御しているときにスロットル トリム ノブを
元の設定から移動すると、送信機はトリム ノブの
実際の位置を無視します。これにより、モデルが
誤って逃げることを防ぎます。送信機の表
面にある LED が緑色に速く点滅し、スロ
ットル トリム ノブ (マルチ ファンクション
ノブ) は、メモリに保存された元の位置に戻る
までトリムを調整できません。

スロットル トリム コントロールを復元する
には、LED の点滅が止まるまでマルチファ
ンクション ノブをどちらかの方向に回すだけ
です。

Traxxas 送信機にはプログラム可能なマルチファンクション ノブがあり、さま
ざまな高度な送信機機能を制御するように設定できます (デフォルトでは Traxxas
Stability Management (TSM) に設定されています。17 ページを参照)。プログラミ
ング メニューへのアクセスは、送信機のメニュー ボタンと設定ボタンを使用し、
LED からの信号を観察することによって行われます。メニュー構造の説明は 33 ペ
ージに続きます。設定と機能を試して、運転体験が向上するかどうかを確認してくだ
さい。

ステアリング感度 (指数関数的)

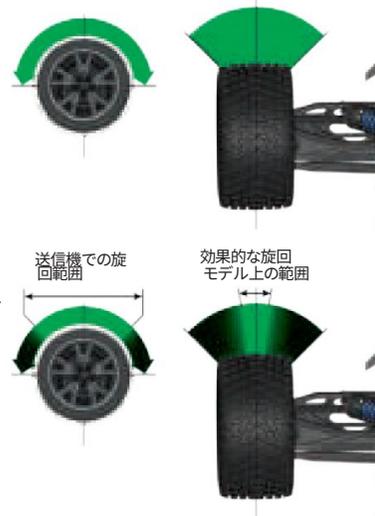
TQi 送信機のマルチファンクション ノブを設定して、ステアリング感度 (指数関
数的とも呼ばれます) を制御できます。ステアリング感度の標準設定は「標準 (ゼロ指
数)」で、ダイヤルが移動範囲内で左いっぱいにあります。この設定により、リニアな
サーボ応答が得られます。ステアリング サーボの動きは、送信機のステアリング ホ
イールからの入力に正確に対応します。ノブを中心に時計回りに回すと「負の指数関
数」が発生し、サーボの応答性がニュートラル付近で低下し、サーボの移動範囲の限界に
近づくにつれて感度が増加するため、ステアリング感度が低下します。ノブを回すほど、
ステアリングサーボの動きの変化が顕著になります。

「指数関数的」という用語はこの効果に由来しています。サーボの移動量は、ステアリン
グ ホイールからの入力に対して指数関数的に変化します。指数関数的な効果はパーセン
テージで示され、パーセンテージが大きいほど効果も大きくなります。以下の図は、これがど
のように機能するかを示しています。

通常のステアリング感度 (指数関数的 0%):この図
では、ステアリング サーボの移動
量 (およびそれに伴うモデルの
前輪のステアリング動作) がステ
アリング ホイールに正確に対応して
います。範囲は説明のために誇張されて
います。

ステアリング感度の低下 (負の指
数関数):マルチファンクシ
ョンノブを時計回りに回すと、モデルの
ステアリング感度が低下します。ステ
アリングホイールの移動量が比較的大
きいと、サーボの移動量が小さくな
ることに注意してください。ノブを回
すほど効果が顕著になります。

ステアリング感度の低下は、トラクシ
ョンの低い路面を走行する場合、高
速で走行する場合、または穏やかな
ステアリング入力が必要な急旋回を好むトラックを走行する場合に役立ちます。範囲は説明
のために誇張されています。



スロットル感度 (スロットル指数)

マルチファンクションノブを設定してスロットル感度を制御できます。
スロットル感度はステアリング感度と同じように機能しますが、エフェクトはスロッ
トル チャンネルに適用されます。前進スロットルのみが影響を受けます。ブレーキ/
後進移動は、スロットル感度の設定に関係なく線形のままです。

ステアリングパーセンテージ (デュアルレート)

マルチファンクションノブを設定して、ステアリングに適用されるサーボトラベル量 (パーセ
ンテージ) を制御できます。マルチファンクションノブを時計回りに完全に回すと、ステ
アリングのスローが最大になります。ノブを反時計回りに回すと、ステアリングのスローが
減少します(注:ダイヤルを反時計回りに止まるまで回すと、サーボの移動がすべて
なくなります)。ステアリング エンド ポイントの設定により、サーボの最大ステアリン
グ スローが定義されることに注意してください。(マルチファンクションノブを時
計回りに完全に回して) ステアリングパーセントを 100% に設定すると、サーボは選択し
た終点まで移動しますが、それを超えることはありません。多くのレーサーはデュアルレ
ートを設定しているため、トラックの最もきついターンの必要なステアリングスローのみが得
られ、コースの残りの部分でモデルをコントロールしやすくなります。ステアリングスローを減らす
ことは、トラクションの高い路面でモデルをコントロールしやすくなり、大きなステアリン
グトラベルを必要としないオーバルレースでステアリング出力を制限したりするのに役
立ちます。

ブレーキ率マルチファン

クションノブは、二トロパワーモデルのサーボによって適用されるブレーキトラベル量を
制御するように設定することもできます。電動モデルにはサーボ作動ブレーキはありませ
んが、ブレーキ率機能は電動モデルでも同様に動作します。マルチファンクションノブ
を時計回りにいっぱい回すと、ブレーキの効きが最大になります。ノブを反時計回りに回
すと、ブレーキのかかりが減少します(注:ダイヤルを反時計回りに停止位置まで
回すと、ブレーキの動作がすべてなくなります)。

スロットルトリム

マルチファンクションノブをスロットルトリムとして設定すると、スロットルのニュートラ
ル位置を調整して、送信機のトリガーがニュートラルにあるときに不要なブレーキの引きずり
やスロットルの適用を防ぐことができます。注:送信機には、偶発的な暴走を防ぐためのス
ロットル トリム シーク モードが装備されています。詳細についてはサイドバーを参照してく
ださい。

ステアリングとスロットルのエンドポイント

TQi トランスミッターを使用すると、左右の移動 (ステアリング チャネル上) とスロットル/ブレーキの移動 (スロットル チャネル上) について、サーボの移動範囲の制限 (またはその「エンド ポイント」) を個別に選択できます。

これにより、サーボ設定を微調整して、サーボがステアリングやスロットル リンケージ (ニトロ モデルの場合) を機械的限界を超えて移動することによって引き起こされるバインディングを防ぐことができます。選択したエンドポイント調整設定は、サーボの最大移動量を表します。ステアリングパーセンテージまたはブレーキパーセンテージ機能は、エンドポイント設定をオーバーライドしません。

ステアリングとスロットルのサブトリム

サブトリム機能は、トリムノブを「ゼロ」に設定するだけではサーボが完全に中心にならない場合に、ステアリングまたはスロットルサーボの中立点を正確に設定するために使用されます。サブトリムを選択すると、サーボ出力シャフトの位置をより細かく調整でき、中立点を正確に設定できます。サブトリムを使用して最終調整 (必要な場合) を行う前に、必ずステアリング トリム ノブをゼロに設定してください。スロットル トリムが以前に調整されている場合は、サブトリムを使用して最終調整を行う前に、スロットルトリムを「ゼロ」に再プログラムする必要があります。

設定ロックこれ

らの設定をすべて好みに合わせて調整したら、マルチファンクション ノブを無効にして、どの設定も変更できないようにすることができます。これは、Traxxas Link™ モデルメモリを介して 1 台の送信機で複数の車両を操作する場合に特に便利です。

複数の設定とマルチファンクションノブ マルチファンクシ

ンノブで行った設定は、互いに「オーバーレイ」されることに注意することが重要です。たとえば、ステアリングパーセントを調整するためにマルチファンクションを割り当て、それを50%に設定し、その後ノブをステアリング感度を制御するように再割り当てすると、送信機はステアリングパーセント設定を「記憶」します。ステアリング感度に加えた調整は、以前に選択した 50% ステアリングスロー設定に適用されます。同様に、マルチファンクションノブを「無効」に設定すると、ノブはそれ以上調整できなくなりますが、マルチファンクションノブの最後の設定は引き続き適用されます。



フェールセ

ーフTraxxas 無線システムには、信号が失われた場合にスロットルを最後に保存されたニュートラル位置に戻すフェールセーフ機能が組み込まれています。送信機と受信機の LED が赤く速く点滅します。

送信機の LED コード

LEDの色/パターン	名前	ノート
緑色に点灯	通常運転モード	送信機コントロールの使用法については、15 ページを参照してください。
ゆっくりとした赤色 (0.5 秒オン / 0.5 秒オフ)	バインディング	バインディングの詳細については、16 ページを参照してください。
緑色に速く点滅 (0.1 秒オン / 0.15 秒オフ)	スロットルトリムシークモード	LED の点滅が止まるまで、マルチファンクション ノブを右または左に回します。詳細については、30 ページを参照してください。
中程度の赤で点滅 (0.25 秒オン / 0.25 秒オフ)	バッテリー低下アラーム	送信機に新しい電池を入れてください。詳細については、13 ページを参照してください。
赤で速く点滅 (0.125 秒オン / 0.125 秒オフ)	リンク障害/エラー	送信機と受信機の束縛はなくなりました。通常の動作を再開するには、システムの電源をオフにしてから再度オンにします。リンク障害の原因を特定します (範囲外、バッテリー残量低下、アンテナの損傷など)。
プログラミングパターン		
数字 (緑または赤) をカウントし、一時停止します。	現在のメニュー位置	詳細については、「メニュー ツリー」を参照してください。
x8	ファーストグリーン 8回	メニュー設定受付中 (SET時)
x8	高速赤8回	メニューSET無効

受信機の LED コード

LEDの色/パターン	名前	ノート
緑色に点灯	通常運転モード	送信機コントロールの使用法については、15 ページを参照してください。
ゆっくりとした赤色 (0.5 秒オン / 0.5 秒オフ)	バインディング	バインディングの詳細については、16 ページを参照してください。
赤で速く点滅 (0.125 秒オン / 0.125 秒オフ)	フェールセーフ / 低電圧検出	受信機内の一貫した低電圧によりフェールセーフが作動し、完全に電力を失う前にスロットル サーボを中心に置くのに十分な電力が確保されます。

TRAXXAS LINK モデル メモリTraxxas Link モデル メモリは、TQi トラ

ンスミッタの独占的な特許出願中の機能です。送信機が新しい受信機にバインドされるたびに、その受信機に割り当てられたすべての設定とともに、その受信機がメモリに保存されます。送信機とバインドされた受信機のスイッチがオンになると、送信機はその受信機の設定を自動的に呼び出します。モデルメモリエントリのリストから車両を手動で選択する必要はありません。

モデル ロック

Traxxas Link モデル メモリ機能は、最大 30 個のモデル (受信機) をメモリに保存できます。31 番目の受信機をバインドすると、Traxxas Link モデル メモリは「最も古い」受信機をメモリから削除します (つまり、最も長く使用していたモデルが削除されます)。

モデルロックを有効にすると、受信機がメモリ内でロックされ、削除できなくなります。

複数の TQi 送信機を同じモデルにバインドすることもできるため、コレクション内の任意の送信機と以前にバインドされたモデルを選択し、単に電源を入れて運転することが可能になります。Traxxas Link モデル メモリを使用すると、どの送信機がどのモデルに対応するかを覚えておく必要がなく、モデル メモリ エントリのリストからモデルを選択する必要もありません。送信機と受信機がすべてを自動的に実行します。

モデル ロックを有効にするには:

1. ロックしたい送信機と受信機のスイッチをオンにします。
2. 「メニュー」を押し続けます。ステータス LED が緑色に点滅したら手を放します。
3. MENU を 3 回押します。ステータス LED が緑色に 4 回繰り返し点滅します。
4. セットを押します。ステータス LED が 1 回の点滅間隔で緑色に点滅します。
5. SET を 1 回押します。ステータス LED が赤色で 1 回繰り返し点滅します。
6. MENU を 1 回押します。ステータス LED が赤色で 2 回繰り返し点滅します。
7. セットを押します。LED が緑色に速く点滅します。これでメモリがロックされました。MENU を長押しすると、運転モードに戻ります。
注: メモリのロックを解除するには、ステップ 5 で SET を 2 回押します。LED が緑色に速く点滅し、モデルがロック解除されていることを示します。全モデルのロックを解除するには、手順 6 で MENU を 2 回押してから SET を押します。

モデルを削除するには: あ

る時点で、運転しなくなったモデルをメモリから削除したい場合があります。

1. 削除したい送信機と受信機の電源を入れます。
2. 「メニュー」を押し続けます。ステータス LED が緑色に点滅したら手を放します。
3. MENU を 3 回押します。ステータス LED が緑色に 4 回繰り返し点滅します。
4. SET を 1 回押します。ステータス LED が緑色に 1 回繰り返し点滅します。
5. MENU を 1 回押します。ステータス LED が緑色に 2 回繰り返し点滅します。
6. セットを押します。これで、メモリが削除対象として選択されました。SET を押してモデルを削除します。MENU を長押しすると、運転モードに戻ります。

メニュー ツリー以下のメ

ニュー ツリーは、TQi 送信機のさまざまな設定と機能をナビゲートする方法を示しています。

MENU を押したままにしてメニュー ツリーに入り、次のコマンドを使用してメニュー内を移動し、オプションを選択します。

メニュー:メニューに入るときは、常に一番上から開始します。MENU を押してメニュー ツリーを下に移動します。

SET: SET を押してメニュー ツリー内を移動し、選択します。オプションが送信機のメモリにコミットされると、ステータス LED が緑色に速く点滅します。

BACK: MENU と SET の両方を押して、メニュー ツリーの 1 レベル前に戻ります。

EXIT: MENU を押したままにして、プログラミングを終了します。選択したオプションは保存されます。

ECHO: SET を押し続けると、「エコー」機能が有効になります。

場所を失った場合、Echo はメニュー ツリー上の現在の位置を「再生」します。例: 現在の位置がステアリング チャンネル エンド ポイントの場合、SET を押し続けると、LED が緑色に 2 回、緑色に 1 回、次に赤色に 3 回点滅します。Echo は調整を変更したり、プログラミング シーケンス内の位置を変更したりすることはありません。

以下は、メニュー ツリー内の機能にアクセスする方法の例です。この例では、ユーザーはマルチファンクション ノブをステアリング % (デュアル レート) コントロールに設定しています。

STEERING % (デュアルレート) を制御するようにマルチファンクションノブを設定するには: 1. 送信機のスイッチをオンにします。

2. 緑色の LED が点灯するまで、MENU を押し続けます。一回点滅します。

3. セットを押します。赤い LED が 1 回の間隔で点滅し、ステアリングを示します。感度 (Expo) が選択されています。

4. MENU を 2 回押します。赤色の LED が 3 回繰り返して点滅し、ステアリング % (デュアルレート) が選択されていることを示します。

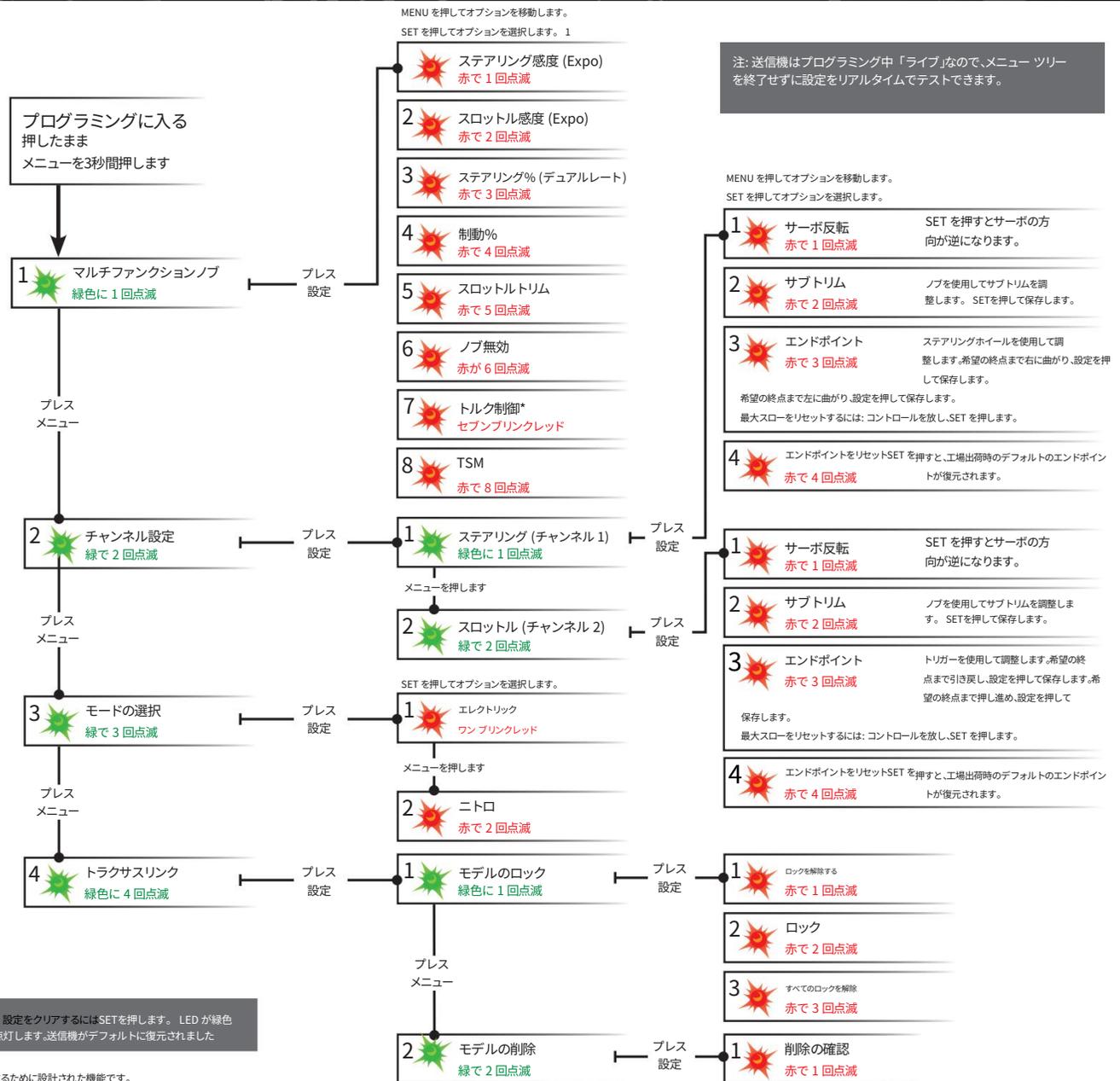
5. SET を押して選択します。緑色の LED が 8 回速く点滅し、選択が成功したことを示します。

6. MENU を押したままにして、運転モードに戻ります。

工場出荷時のデフォルトに戻す:

送信機 オフ	両方持っている メニューとセット	送信機 の上	MENUとSETを離すと赤色LED が点滅	設定をクリアするにはSETを押します。LED が緑色 に点灯します。送信機がデフォルトに復元されました
-----------	---------------------	-----------	--------------------------	--

*トルク コントロールは、トラクス ファニー カー レース レプリカ (モデル #6907) の電源システムでのみ使用するために設計された機能です。



TQiアドバンスチューニングガイド

マルチファンクションノブをステアリングに設定 感度 (エキスポ)	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅します	SETを押して緑色のLEDが点滅することを確認します (8回)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります								
マルチファンクションノブをTHROTTLEに設定 感度 (エキスポ)	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅	MENUを押して確認します 赤色LED点滅 (2回)	SETを押して選択します 緑色のLEDが点滅 (8回)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります							
マルチファンクションノブをステアリングに設定 デュアルレート (%)	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅	MENUを2回押し赤LED点滅 (3回)	SETを押して緑色のLED点滅 (x8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります							
BRAKING用マルチファンクションノブを設定 パーセンテージ (%)	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを3回押し赤色LEDが点滅 (4回)	SETを押して緑色のLED点滅 (x8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります							
マルチファンクションノブの設定 スロットルトリム	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅	MENUを4回押し赤色LEDが点滅 (5回)	SETを押して緑色のLED点滅 (x8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります	LEDが緑色に点灯するまで、マルチファンクションノブを調整します。						
ロックするには マルチファンクションノブ 長押し MENU	緑色LED点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを5回押し赤色LEDが点滅 (6回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅 (8回)します。	MENUを長押しすると運転モードに戻ります							
方向を反転するには ステアリングサーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	SETを押すと赤色LEDが点滅します	SETを押してサーボの方向を逆にします	MENUを長押しすると運転モードに戻ります						
ステアリングのサブトリムを設定するには サーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLED点滅 (2回)	MENUを押します 緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを押します 赤色LED点滅 (2回)	マルチファンクションノブを使用してニュートラルに設定します	SETを押して位置を保存します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります			
ENDを設定するには ステアリングサーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLED点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤色LEDが点滅	MENUを2回押し赤LED点滅 (3回)	ステアリングホイールを希望の最大左右移動量まで回します	SETを押すと各位置を保存するには	ステアリングホイールを回して設定をテストします	エンドポイントの場合 大丈夫です: MENUを長押しすると運転モードに戻ります	エンドポイントの場合 ある必要があるかわつた: SETを押すとステップ6~8を繰り返します		
ENDをリセットするには ステアリングサーボを初期状態にするポイント	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを3回押し赤色LEDが点滅 (4回)	SETを押してエンドポイントをリセットします	MENUを長押しすると運転モードに戻ります					
方向を反転するには スロットルサーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤色LEDが点滅します	SETを押してサーボの方向を逆にします	MENUを長押しすると運転モードに戻ります					
スロットルのサブトリムを設定するには サーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤色LEDが点滅 (2回)	MENUを押すと赤色LED点滅 (2回)	マルチファンクションノブを使用してニュートラルに設定します	SETを押して位置を保存します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります			
ENDを設定するには スロットルサーボ	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを2回押し赤LED点滅 (3回)	スロットルトリムを使用し、希望の最大スロットルまたはブレーキを設定します	SETを押して保存します トリムを使用してテストする	エンドポイントの場合 大丈夫です: MENUを長押しすると運転モードに戻ります	エンドポイントの場合 ある必要があるかわつた: SETを押すと手順7~9を繰り返します。		
ENDをリセットするには THROTTLEサーボの初期化のポイント	MENUを長押しし緑色のLEDが点滅	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤色LEDが点滅します	MENUを3回押し赤色LEDが点滅 (4回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅 (8回)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります				

メニューツリーの式

メニュー ツリーを参照せずに機能を選択し、TQi 送信機を調整するには、送信機の電源をオンにし、左の列で調整したい機能を見つけて、対応する手順に従うだけです。



必ず最初に送信機の電源を入れてください。

TQi トランスミッターをプログラミングする

あなたの Apple iPhone,iPad,iPod Touch,または
アンドロイドモバイルデバイス

Traxxas Link™ ワイヤレス モジュール

TQi トランスミッター用 (部品番号 6511,別売り) は数
分で取り付けられ,交換されます。

Apple® iPhone®,iPad®,iPod touch®,または Android™
デバイスを強力なチューニング ツールに変換する
と,送信機のボタン/LED プログラミング システムを直観
的で高解像度のフルカラーのグラフィカル ユーザー イ
ンターフェイスに置き換えることができます。

**トラクサスリンク**

強力な Traxxas Link アプリ (Apple App Store または Google Play™ で入手可能) を使用すると,
驚くべきビジュアルと絶対的な精度で Traxxas モデルの操作と調整を完全に制御できます。 Traxxas
Link テレメトリ センサーをモデルにインストールすると,Traxxas Link は速度,RPM,温度,バッテリー電
圧などのリアルタイム データを表示します。



対応機種 iPod
touch (第5世代以降) iPad mini
iPad Pro

iPad2
iPad Air
iPhone 4s (以降)
Android 4.4 (以降)

直感的な iPhone,iPad,iPod touch,お
よび Android インターフェイスTraxxas
Link を使用すると,強力なチューニング
オプションを簡単に学習,理解し,アクセス
できます。 TSM支援パーセンテージなどのド
ライブエフェクト設定を制御します。ステ
アリングとスロットルの感度,ステアリ
ングの割合,制動強度,画面上のスライダーを
タッチしてドラッグするだけで,スロット
ルトリムを行うことができます。

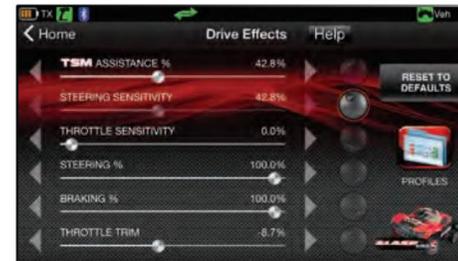
リアルタイム テレメトリモデ

ルにセンサーを装備すると,Traxxas
Link ダッシュボードが起動し,速度,パツ
テリ電圧,RPM,温度が表示されます。しきい
値警告を設定し,最大値,最小値,または平均値
を記録します。録画機能を使用してダッシュ
ボードのビューを音声付きで記録すると,
運転に目を離さず,頂点を一つも見逃すことが
なくなります。

Traxxas Link で最大 30 のモデルを管理
TQi 無線システムは,どの車
両に接続されているかを自動的に追跡し
ます。

それぞれにどのような設定が使用された
か,合計で最大 30 のモデルが含まれます。
Traxxas Link は,モデルに名前を付け,設
定をカスタマイズし,プロファイルを添付し,
メモリにロックするためのビジュアル インタ
ーフェイスを提供します。モデルと以前
にバインドされた送信機を選択し,電源を入
れて,楽しみ始めてください。

Apple,Apple logo,iPhone,iPad,および iPod touch は,米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです,AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標です。



タップしてスライドして,TSM,ステアリング感度,スロットルトリ
ム,ブレーキパーセントなどを調整します。



カスタマイズ可能な Traxxas Link ダッシュボードは,リアルタイム
の rpm,速度,温度,電圧データを提供します。



Traxxas Link Model Memory により,車両のコレクションを簡単に
整理できます。

**トラクサス リンク**

ワイヤレスモジュールは別売り
です(部品番号6511)。
Traxxas Link アプリ

ケーションは,iPhone,iPad,
または iPod touch の場合は
Apple App Store から,
Android デバイスの場合
は Google Play から入手できま
す。 iPhone,iPad,iPod touch,ま
たは Android デバイスは,Traxxas
Link ワイヤレス モジュールには
含まれていません。

Traxxas Link ワイヤレス モ
ジュールおよび Traxxas Link
アプリケーションの詳細につい
ては,Traxxas.com を参照してくだ
さい。





オーナーズマニュアル

TRAXXAS

6250 TRAXXAS WAY, マッキニー、テキサス 75070

1-888-トラクサス